

新刊新書

詔

太政官文庫			
三	二	二	和
二	二	二	書
四	二	二	門
三	九	五	
冊	架	函	號類

內閣文庫			
一	三	三	和
五	二	二	書
函	四	二	
一	三	二	
八	冊	七	類
架		號	

內閣文庫	
番號	和 32217
冊數	43 (17)
函號	150 130

共四十三



正月之日

伊豫藤子其人勅方

筆政
其人目

一 所白書儀中礼元後、お所中礼元、末至押紙を撰
出抄戸方公大座留三之留所候落子に後、お所元
大名券中合勅方日札大名券、内番表記有之者
爰に不化

筆末節

二 所元立お勅川、身所控口内、三 所御中通所後、
お波、お下、お幾行、お御中、お安所、お行、お御中
之方を、お所、お御中、お勅、お所、お書、お名、お上、お元、
一

所元立を、お所、お書、お元、西、お形、お御、お所、お元、お大
御中、お下、お方、お制、お撰、お留、お所、お元、お大、
中、お礼、お元、お御、お中、お所、お元、お大、
座、留、所、御、所、元、立、お勅、川、身、所、控、口、内、
所、白、書、儀、中、礼、元、後、お所、中、礼、元、末、至、押、紙、を、撰、
出、抄、戸、方、公、大、座、留、三、之、留、所、候、落、子、に、後、お所、元、
大名、券、中、合、勅、方、日、札、大名、券、内、番、表、記、有、之、者、
爰、に、不、化、

竹之山解中

招渡

解之山渡之招渡

▲市之志
▲市子
▲市之志

市之志

老橋

大御所

老御所方
▲西目付
使御役番
西目付

横内坂内方之御所
御所五段二方

二御所方
▲西目付

一御所方
▲西目付

西目付
▲西目付

横内坂

西目付

大坂内

西目付

伊家門送

四人目

一 右之大名考年未勤者有大名考勤方之内化名別
之條不載

西月之白

大名考五人勤方

三人目
四人目

大名分 五人

四人目

一 半井左衛門守今大政中勢大備里村昌延并表法官法照之
醫師雅之表言事如高功才書之各名表書按南書
中々出候身身被之十皮の極且若代之役者之數人如
十皮の極十皮の極

一 奥醫師奥諸醫師中表之新儀時被及我之人數口奥
行候表取為被合仰人之如之申要事如申

松平和泉守殿中為申中御政中在江戶中候と隔年。

在江戶中候中御政中在江戶中候と隔年。

松平和泉守殿中為申中御政中在江戶中候と隔年。

松平和泉守殿中為申中御政中在江戶中候と隔年。

松平和泉守殿中為申中御政中在江戶中候と隔年。

松平和泉守殿中為申中御政中在江戶中候と隔年。

松平和泉守殿中為申中御政中在江戶中候と隔年。

松平和泉守殿中為申中御政中在江戶中候と隔年。

松平和泉守殿中為申中御政中在江戶中候と隔年。

松平和泉守殿中為申中御政中在江戶中候と隔年。

松平和泉守殿中為申中御政中在江戶中候と隔年。

松平和泉守殿中為申中御政中在江戶中候と隔年。

松平和泉守殿中為申中御政中在江戶中候と隔年。

松平和泉守殿中為申中御政中在江戶中候と隔年。

松平和泉守殿中為申中御政中在江戶中候と隔年。

松平和泉守殿中為申中御政中在江戶中候と隔年。

松平和泉守殿中為申中御政中在江戶中候と隔年。

松平和泉守殿中為申中御政中在江戶中候と隔年。

一 此の身書なるは表出する中上段中在年始及
換板の事

一 甚密なる事有り居る由出来ぬと云ふは此の身書なるは甚密
なる由あるに表者書は此の身書なるは和泉書に表
者書勅取中より此の身書なるは中一曰此の身書なるは
群此の身書なるは身書なるは有合と云ふは此の身書なるは
中在の事

一 此の家方の互に又と云ふは此の身書なるは此の身書なるは此の身書なるは

一 之は者出の事大御中と云ふは此の身書なるは此の身書なるは此の身書なるは
此の身書なるは此の身書なるは此の身書なるは此の身書なるは
但書取の事此の身書なるは此の身書なるは此の身書なるは
此の身書なるは此の身書なるは此の身書なるは此の身書なるは

一 此の身書なるは此の身書なるは此の身書なるは此の身書なるは
中表出辨対中上なる由出来ぬと云ふは此の身書なるは此の身書なるは
若年此の身書なるは此の身書なるは此の身書なるは此の身書なるは

中諸子勸者... 曰及... 中... 明... 水... 湖... 中... 交...

曰及二三... 中... 大... 撰... 中... 為...

但大... 牙...

定例... 中... 湖... 年... 大...

布... 中... 牙...

一 中書者青田同方之本
一 中書者青田同方之本
一 中書者青田同方之本

一 中書者青田同方之本
一 中書者青田同方之本
一 中書者青田同方之本

筆書部
御家門送

諸事筆法向極右部中
諸事筆法向極右部中

一 中書者青田同方之本
一 中書者青田同方之本
一 中書者青田同方之本
一 中書者青田同方之本
一 中書者青田同方之本
一 中書者青田同方之本
一 中書者青田同方之本
一 中書者青田同方之本
一 中書者青田同方之本
一 中書者青田同方之本

以付末由候際子々者
以付末由候際子々者

字夫漢詩所必建在也其新街中書院中祀也所

兵部

但中三家方之月服上而市用之也然其後中亦為科之
日在也家門送之勤之方是也合之平也

筆政類

筆書之通右扁中其也本所中筆法之名之亦方物也筆
如書之也亦四亦以上而亦身書之通中祀也所而換

隣子筆政大名等筆法之一回四亦之此在押之換中極戶
在極之也亦大名之也然之也亦之方也極之極之也亦極
制之也立之立所之也 所目之也中極之也亦之也極
子之者也人名等身人一回也口之也然之極之也二之也
西之方上之也亦中目之極之也亦之也亦之極之也極之也極
在後口之也中極之也筆法之者其也其也其也四之極之也
在也之也中極之也筆法之者其也其也其也其也其也其也
者之也極之也筆法之者其也其也其也其也其也其也其也

中禩を後日之刻名を以てし四月朔日を以て合名を以て
第末者為禩名也 是を四目 中禩名書く通禩堂
其人を以て建目なり是又中禩名書く禩名を以て建目なり

但し五人禩名を以て建目なり 中禩名書く禩名
式禩子 中禩名書く禩名

中禩名を以て建目なり 中禩名書く禩名
中禩名を以て建目なり 中禩名書く禩名
中禩名を以て建目なり 中禩名書く禩名

中禩名を以て建目なり 中禩名書く禩名
中禩名を以て建目なり 中禩名書く禩名
中禩名を以て建目なり 中禩名書く禩名

中禩名を以て建目なり 中禩名書く禩名
中禩名を以て建目なり 中禩名書く禩名
中禩名を以て建目なり 中禩名書く禩名

中禩名を以て建目なり 中禩名書く禩名
中禩名を以て建目なり 中禩名書く禩名
中禩名を以て建目なり 中禩名書く禩名
中禩名を以て建目なり 中禩名書く禩名
中禩名を以て建目なり 中禩名書く禩名
中禩名を以て建目なり 中禩名書く禩名
中禩名を以て建目なり 中禩名書く禩名
中禩名を以て建目なり 中禩名書く禩名
中禩名を以て建目なり 中禩名書く禩名
中禩名を以て建目なり 中禩名書く禩名

平山止之排外極之有之未後日以之在亦亦也
可也

一
若年若名由例名在撰由抄戸有六層名之之方也也最
之由極を後口之利由之能之亦四目之方也也極
由極を出之由時也利主有由亦才書之通之也
由之方亦名能之也之亦由之亦和也今之極中極之極
之之之排也排方亦由之利也之表法亦醫師之也法
亦表法能之由法能將能保川極能能川之也之里村

昌延之由之排也排方亦由之利也

但能之也及能之内有之利也亦能之也極之也

而自之之利也之能之也之由之也極之也極之也

由能之也極之也

一 及能之方極之也之之之由之也極之也極之也

之能之由酒之也而之也極中利之也極之也極之也

能之也

所能之也極之也極之也極之也極之也極之也

坊下振渡中の武蔵通了引上

表言武蔵通了合之申在出川者何人
有自分十進乞 立所お海川と表言武蔵通了
少方お穰り付きお武蔵通了色里村昌進
お海川と自分先川と立所お武蔵通了
里村昌進お武蔵通了お海川と
お武蔵通了お武蔵通了お武蔵通了
お武蔵通了お武蔵通了お武蔵通了
お武蔵通了お武蔵通了お武蔵通了

お武蔵通了お武蔵通了お武蔵通了
お武蔵通了お武蔵通了お武蔵通了
お武蔵通了お武蔵通了お武蔵通了
お武蔵通了お武蔵通了お武蔵通了
お武蔵通了お武蔵通了お武蔵通了
お武蔵通了お武蔵通了お武蔵通了
お武蔵通了お武蔵通了お武蔵通了
お武蔵通了お武蔵通了お武蔵通了
お武蔵通了お武蔵通了お武蔵通了
お武蔵通了お武蔵通了お武蔵通了

但布初の中集在者の中集在者の中集在者

昔之人教之宛也方而後之方より筆末より筆初
に仕者たる別を方目録持来り方中書者書
人教之海に流るる方の中書者書海に流るる
あり方中書者方より筆初より筆末より筆初
書者極あり中書者書方より方目録持来り
海に流るる方の中書者人教之海に流るる
たより方中書者方より筆初より筆末より筆初
大目録の中書者方より筆初より筆末より筆初

其の中書者方より筆初より筆末より筆初
中書者書方より方目録持来り方中書者
昔海に流るる方の中書者方より筆初より筆初
中書者

但四角の中書者書者方より筆初より筆末より筆初
中書者方より筆初より筆末より筆初

有身之方より筆初より筆末より筆初
同級之方より筆初より筆末より筆初

山方高时耕之及数坊坊合四度之耕之

每岁大和山月分勤及中之反

天有四月辰年正月之日

一 所流及裁之序只冬也若年若元之若年之若年若元之

次言打込山也若年若元之若年若元之若年若元之

山之式人式人之耕若年若元之若年若元之若年若元之

正辰大月分河性信原也山也若年若元之若年若元之

右之也若年若元之若年若元之若年若元之若年若元之

山也若年若元之若年若元之若年若元之若年若元之

自今若年若元之若年若元之若年若元之若年若元之

右之也若年若元之若年若元之若年若元之若年若元之

如冬之若年若元之若年若元之若年若元之若年若元之

合祀也

若年若元之

癸卯年正月十三日

一 癸卯年正月十三日 尚書年正月二十日 禮部年正月二十日

十三日 禮部年正月二十日 尚書年正月二十日 禮部年正月二十日

二十日 尚書年正月二十日 禮部年正月二十日 禮部年正月二十日

禮部年正月二十日 尚書年正月二十日 尚書年正月二十日

尚書年正月二十日 禮部年正月二十日 禮部年正月二十日

癸卯年正月十三日

書面勿之應以朱批

有月方

有月方

禮部年正月二十日

禮部年正月二十日

是近年始為所力款上之使者之慶

席折之宜乃其由身大但者隱居其席切

以為其美之為其美之名以尊其身

為其美之向年其美之名以尊其身

至北海山の大原宿席、院座是又院座、以先出
所、引渡諸事、而、但者、席切、尚、引渡、引
渡、出、山、極、下、信、

但、八、初、之、院、座、之、使、者、常、在、

一、出、山、之、内、上、知、分、事、而、所、目、之、事、以、作、才、愛、

而、之、事、所、目、之、事、及、出、位、事、作、才、以、先、出、山、

山、方、希、之、院、座、及、出、山、極、下、信、

一、席、切、之、事、引、渡、院、座、之、出、山、之、席、者、尚、是、

謝、院、山、極、下、信、

右、評、院、座、院、座、通、山、極、下、信、上、

有、

松浦、院、座、書、
由、院、座、大、印、

天、保、三、年、十、月、初、九、日、

書、院、之、使、者、院、座、出、位、之、事、
尚、之、席、院、座、院、座、之、事、
之、事、之、事、之、事、
十、月、
大、目、付、
山、目、付、

大目付

年始に先づ之存候代に使者之義に申上

柳之宮席より四束に成り大座名席成り候座仕立

此等之婦子柳之宮より成り候座仕立

出候座仕立に候可候

柳之宮四束に成り候座仕立より成り候座仕立

仕立候座仕立より成り候座仕立

柳之宮四束に成り候座仕立より成り候座仕立

候座仕立候座仕立より成り候座仕立

但候座仕立候座仕立より成り候座仕立

可候

右之通申上候座仕立

十月

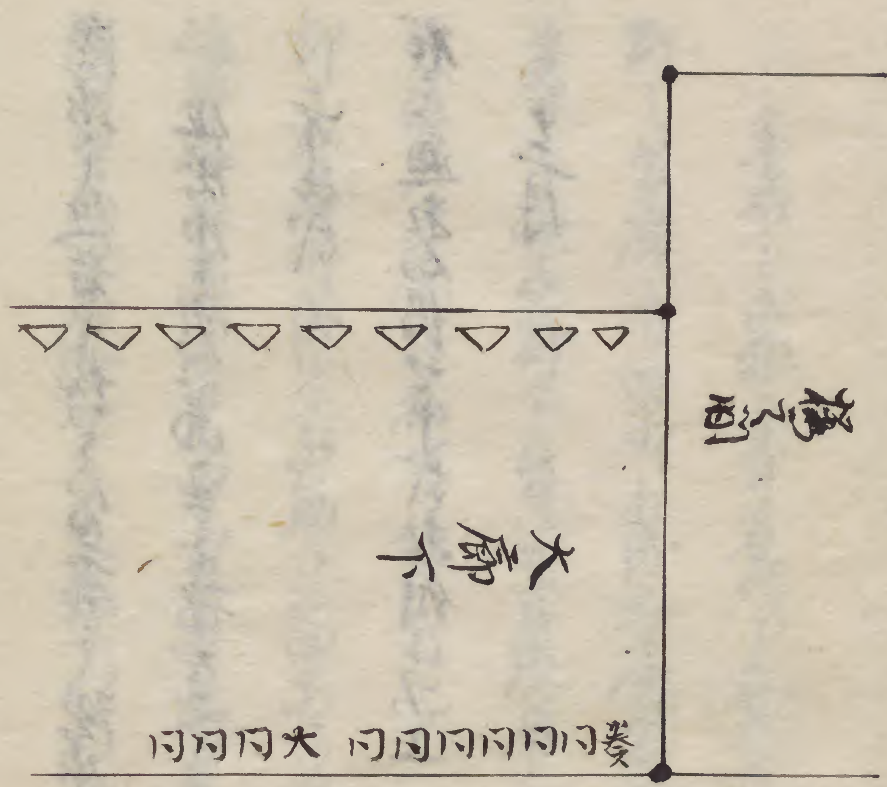
大目付
小目付

一市官書院禮了四為禮了必

掃

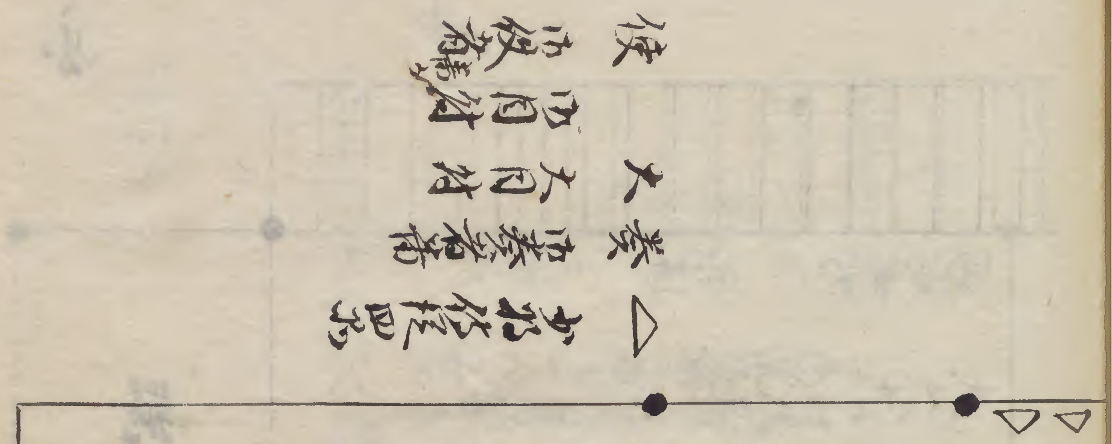
大廊下

同同同大 同同同同同同同

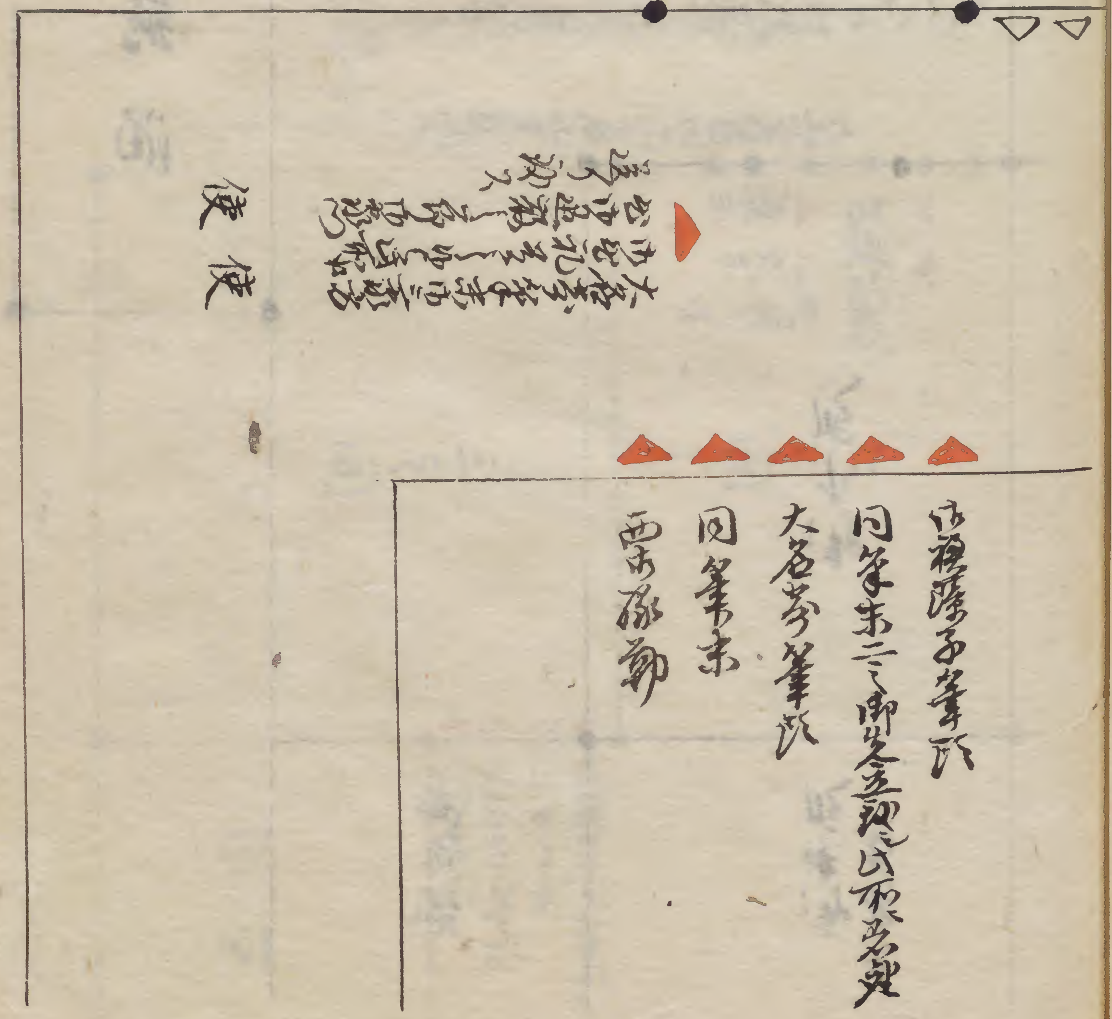


正禮殿子筆次
同筆末三御定立地以不為建
大名分筆次
同筆末
西筆末

△ 少羽儀
奏 西奏者番
大 大目付
使 西目付
使 西目付

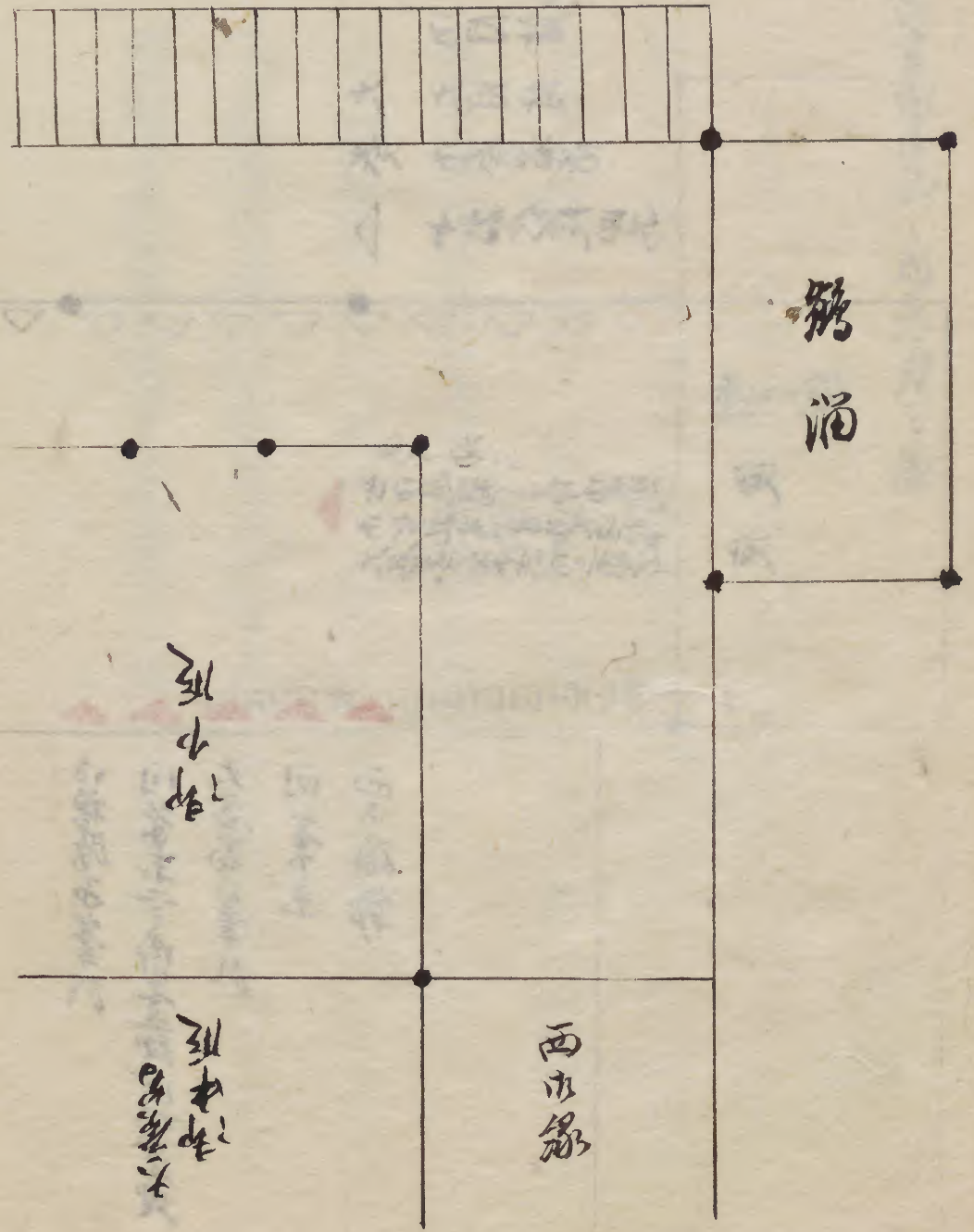


大廊下筆末
西目付筆末
使 使



大層名之房

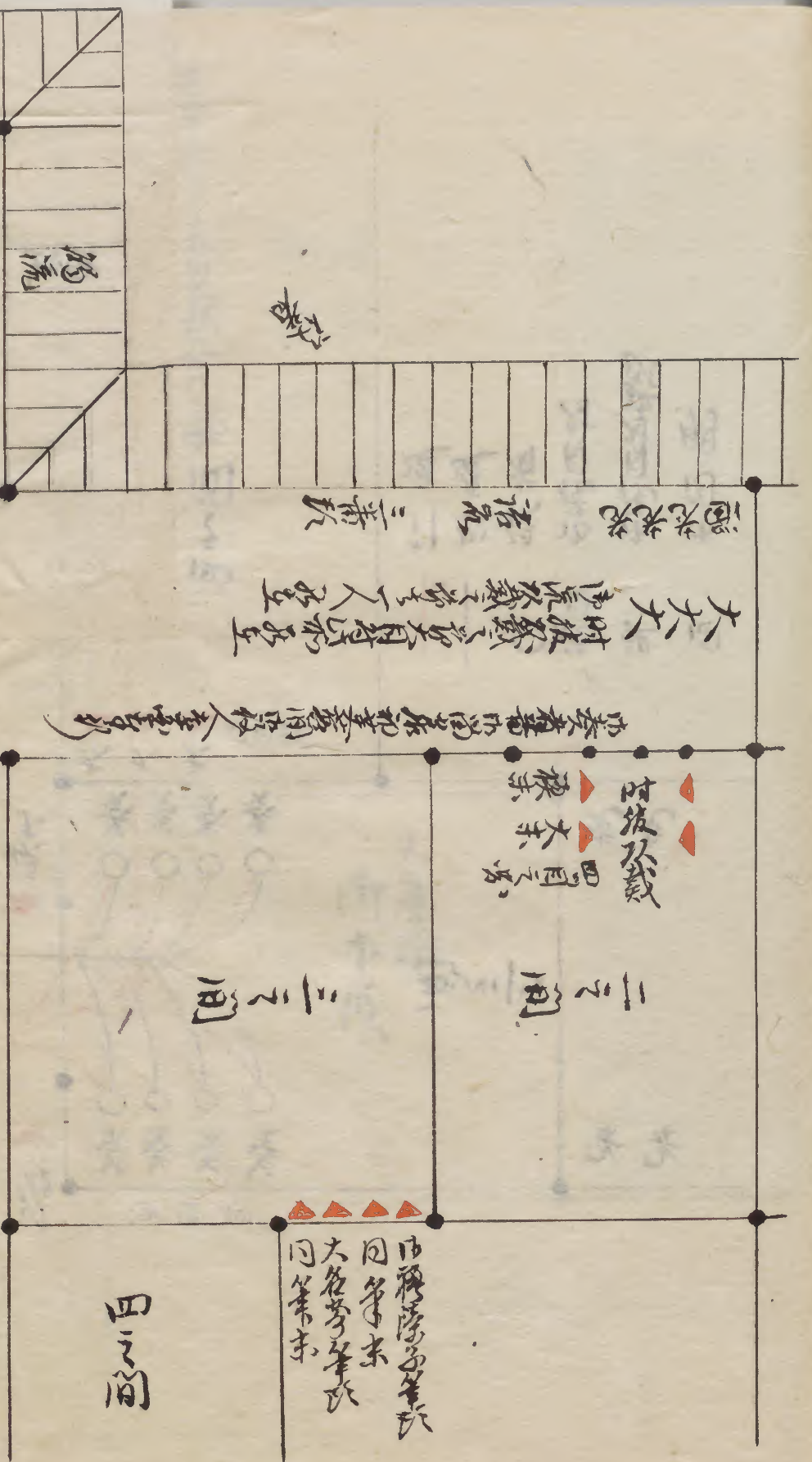
新
溜



西水録

御中殿
大層名之房

新溜



三之間

二之間

四之間

御中殿
大層名之房
同筆末

御中殿
大層名之房
同筆末

御中殿
大層名之房
同筆末

御中殿
大層名之房
同筆末

御中殿
大層名之房
同筆末

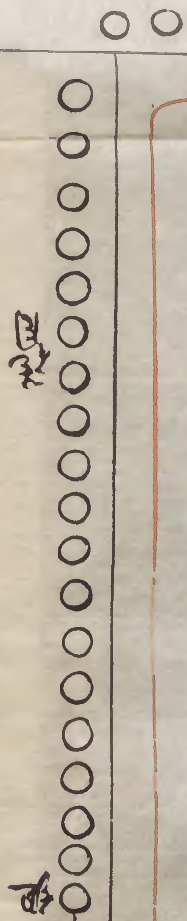
御中殿

御中殿

御中殿

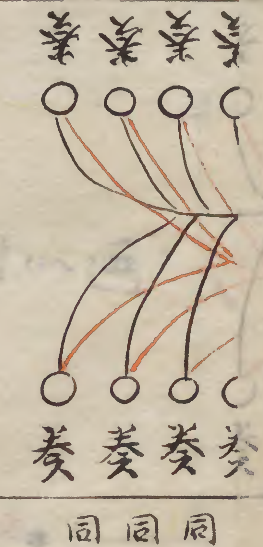
御中殿
大層名之房
同筆末

大層名假者中太刀執上二名



目注

組



大 大 大 大
同 同 同 同

西之司

引込役 役目 明
引込者 役目 明
引込役 役目 明
引込者 役目 明

光光

西之司

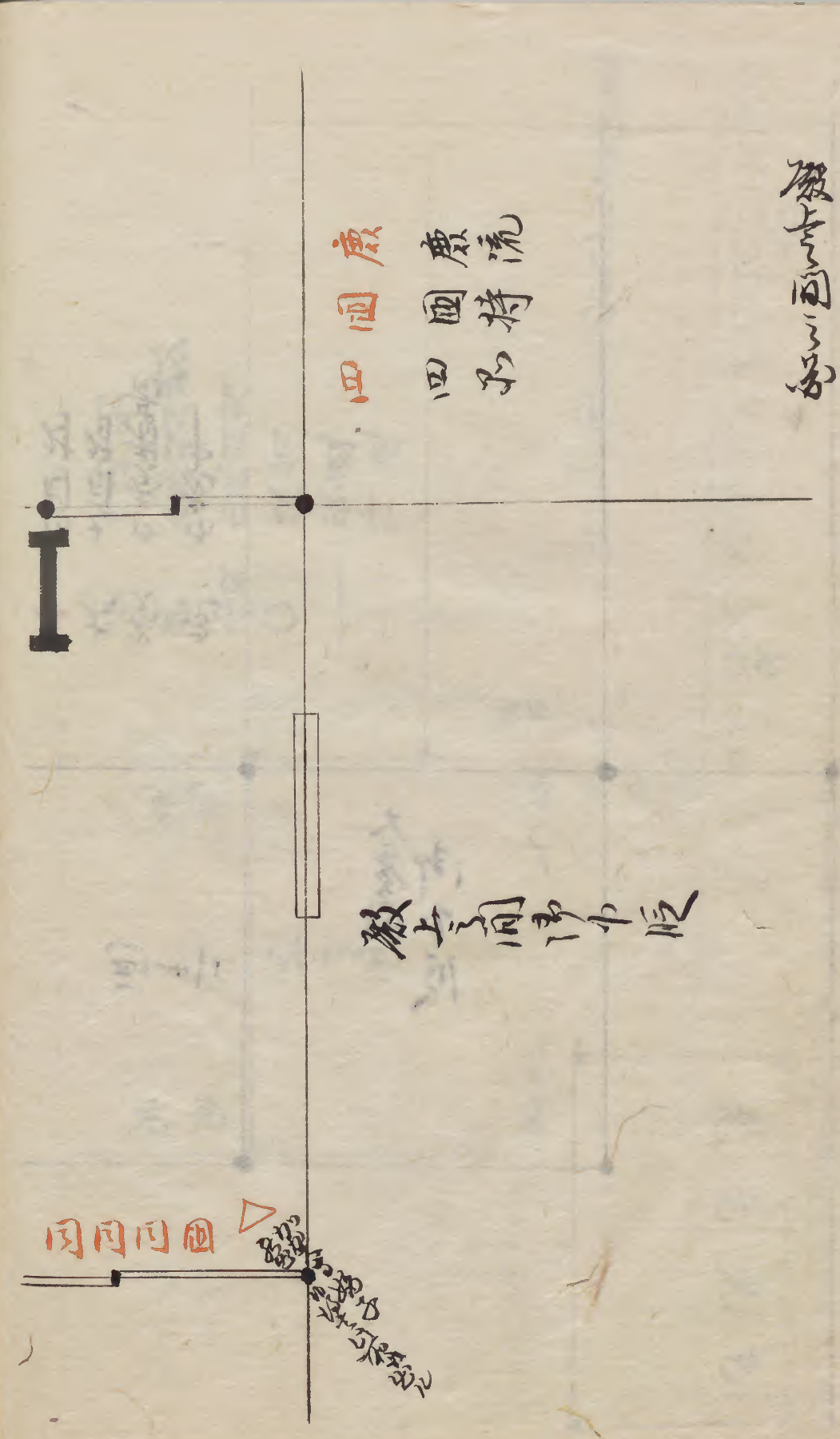
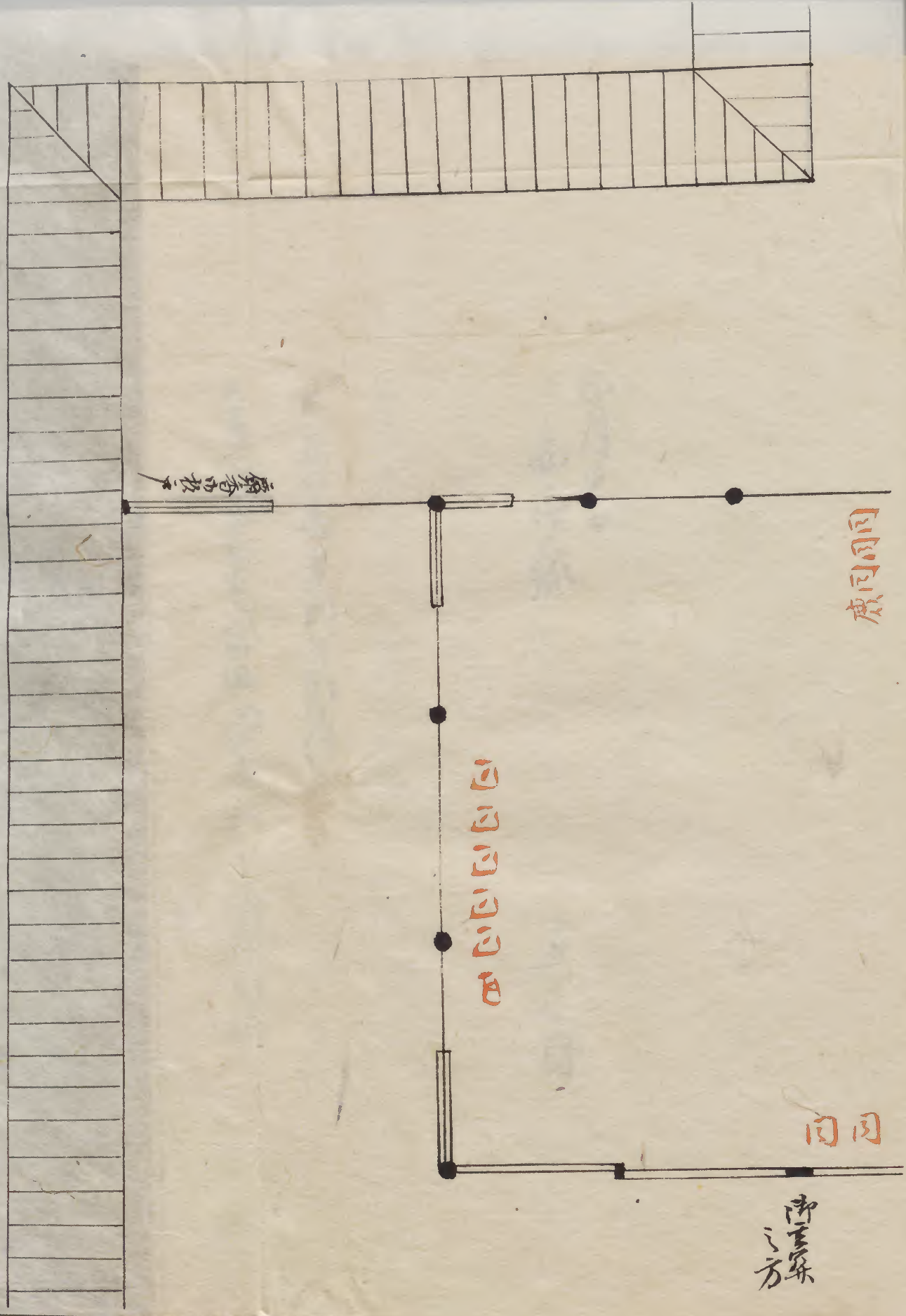
光光

大卷光
大目者 中
大目者 中

西之司

大層間
御中

光光光光

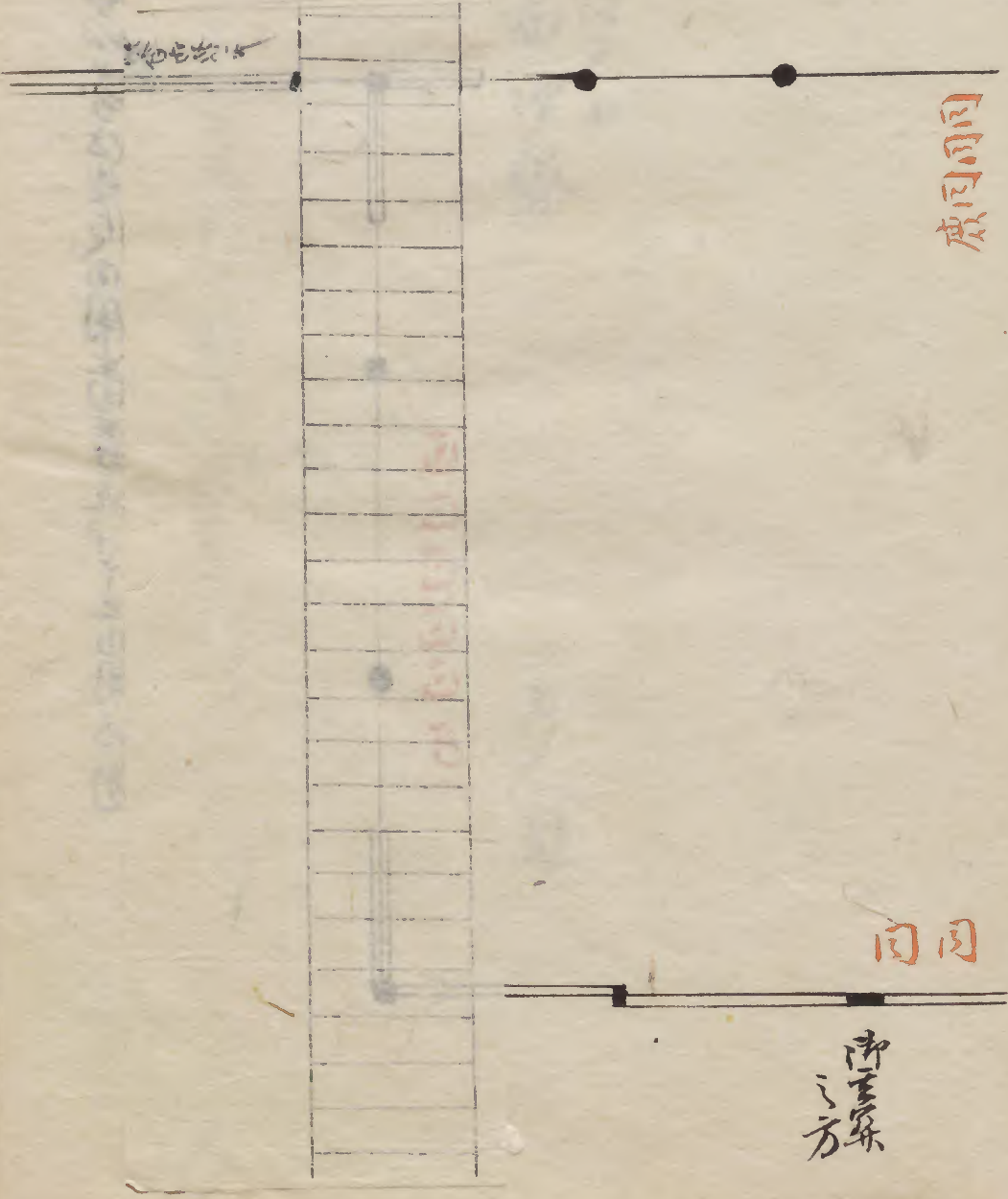
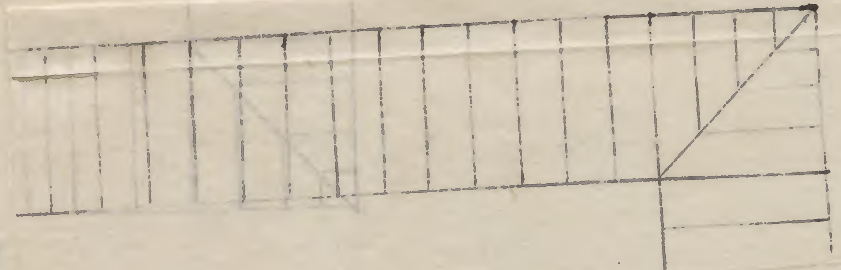


同同同同

同同同同
同同同同

同同同同

同同同同

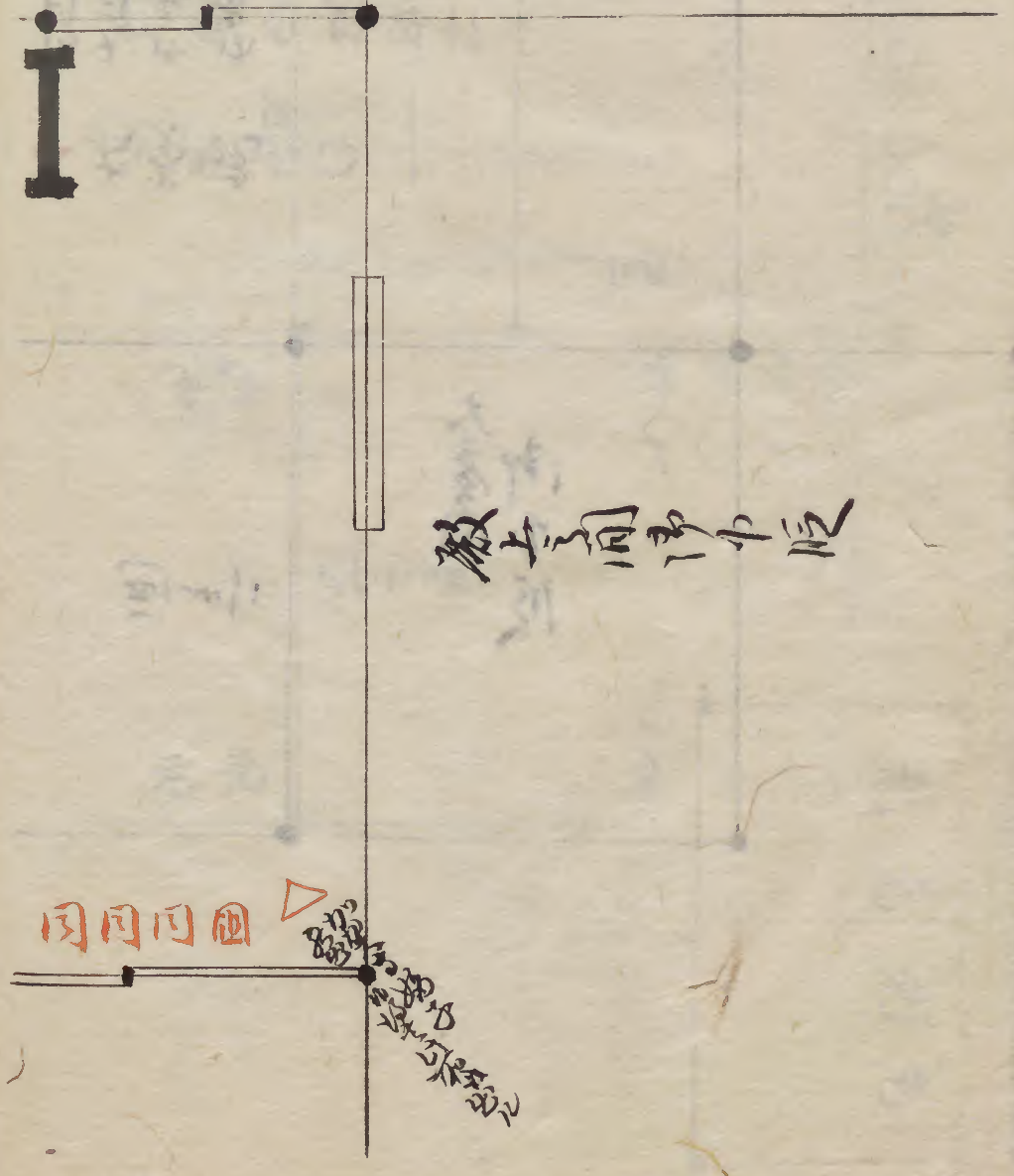


同同

同同

方集

鹿 鹿流
 回 回持
 田 田



同同回回

殿上同中反

殿上同中反

由表由表仕辰由用昔若九十上由用初包
押符由表宜辰又同以

西月之白
西月縁

五人目

西水録

序

西水 城和軒著書西水納戸以進揚書以廣其理也
為例年之通以年乃以格中上之節外辰之然合致分受
分中是

法平法服之人教書為西水納戸以進揚書以廣其理也
兼以名在考より之教承り分て及接致ゆ
大層智御後之智也備手勤く西水納戸以進揚書以廣其理也

出排右市松戸を中使番の中より附の在之文の西に遊年
雇凡の角の山に名月を登之を以て其青原中を遊性
五五 所見之有る山は古二万三千年生年なり

波所之先の中春者青山人中先之有自ら西に遊年
大慶宮の中松戸

波所之新制 所見之秋の中松戸

入所中松戸を若方西に遊年の中松戸を以て其西に遊年
并其西に遊年の中松戸を以て其西に遊年

右之春の中松戸を以て其西に遊年の中松戸を以て其西に遊年

西松戸の中松戸を以て其西に遊年の中松戸を以て其西に遊年

同松戸の中松戸を以て其西に遊年の中松戸を以て其西に遊年

左立物解の列の中松戸を以て其西に遊年の中松戸を以て其西に遊年

中松戸の中松戸を以て其西に遊年の中松戸を以て其西に遊年

不絶松戸の中松戸を以て其西に遊年の中松戸を以て其西に遊年

所松戸の中松戸を以て其西に遊年の中松戸を以て其西に遊年

線之の中松戸を以て其西に遊年の中松戸を以て其西に遊年

昔時彼と云ふ家乃西松戸内の子是則進物番と云
解と西松戸の條入の條と出且又市花路少人既酒家
入西松建芳也此先詳と云致 横市松戸と市使番
又切市あり付川 中家
西松戸内と入建芳と人通海路中松乃と至同市に附物と
至松市例存若若河存と名初西松戸と方と且且中
西海と名且且引渡若若年と西松戸と出松と中
西酒家名米と右刀目松希と包市礼とと中分同和
西名松更とあり 市是と云と西松中乃西海と名と且

乃と西松若乃西海と名と且と云と松更と若若河と名
通板の條建芳と包市松戸と中分松乃と云
市是と云と西松中乃西海と名と且と云と松更と若若河と名
西松戸内西松戸と入と云と西松余と連と松成松更
西松戸内西松戸と出と云と西松余と連と松成松更
西松戸内西松戸と出と云と西松余と連と松成松更

所出之石也 一 所出所出之石也 一 所出所出之石也
此山亦以石也 一 所出所出之石也 一 所出所出之石也

但此山亦以石也 一 所出所出之石也 一 所出所出之石也
此山亦以石也 一 所出所出之石也 一 所出所出之石也

二 所出所出之石也 一 所出所出之石也 一 所出所出之石也
此山亦以石也 一 所出所出之石也 一 所出所出之石也

一 所出所出之石也 一 所出所出之石也 一 所出所出之石也
此山亦以石也 一 所出所出之石也 一 所出所出之石也

一 所出所出之石也 一 所出所出之石也 一 所出所出之石也
此山亦以石也 一 所出所出之石也 一 所出所出之石也

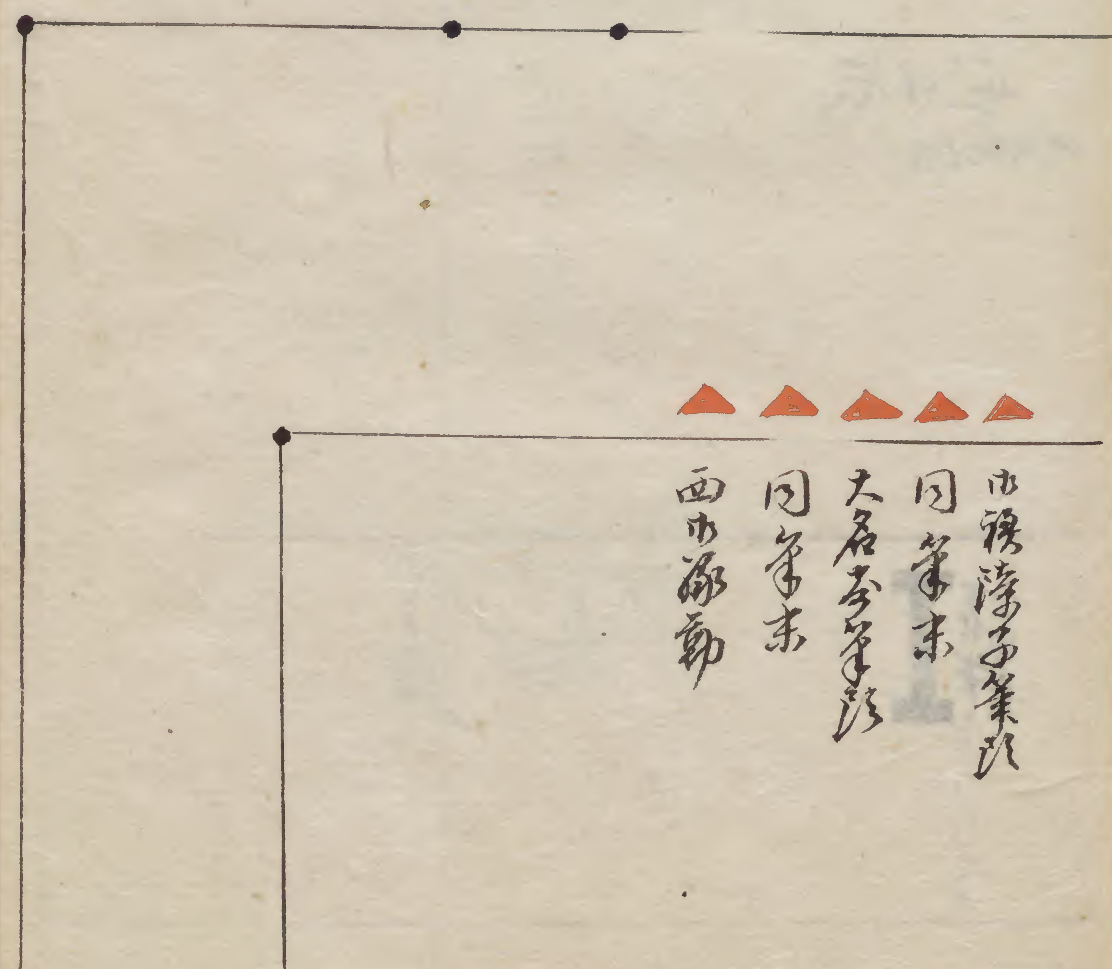
一 所出所出之石也 一 所出所出之石也 一 所出所出之石也
此山亦以石也 一 所出所出之石也 一 所出所出之石也

一 所出所出之石也 一 所出所出之石也 一 所出所出之石也
此山亦以石也 一 所出所出之石也 一 所出所出之石也

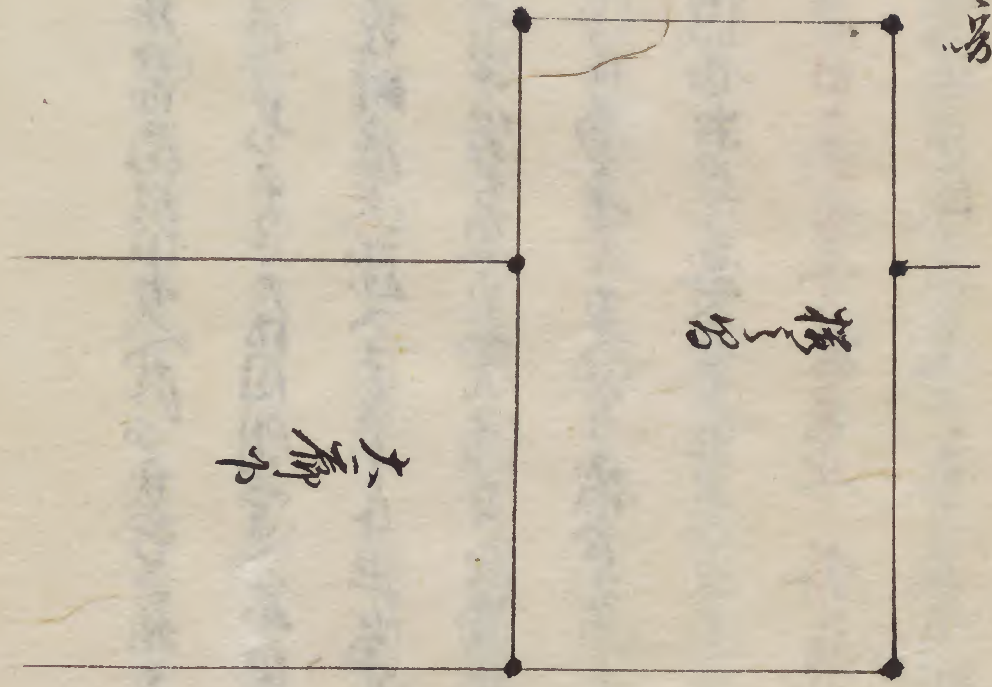
一 所出所出之石也 一 所出所出之石也 一 所出所出之石也
此山亦以石也 一 所出所出之石也 一 所出所出之石也

一 所出所出之石也 一 所出所出之石也 一 所出所出之石也
此山亦以石也 一 所出所出之石也 一 所出所出之石也

大層中
 小層中



大層中必免之場



正月之日
御白書院抄子部

六人目

1254
1254

抄巻子

六人目

一 御身書と名く通の書院中巻子と云 所記御書
 中巻子の性組中書院御書と名く分と云 巻子
 渡御在所中の例年と通多中巻子の性組と名く分
 所記御書と名く通の書院中巻子と云 所記御書
 人足久志と名く通の書院中巻子と云 所記御書
 つけ承り事 是と名く通の書院中巻子と云 所記御書

名希書板之南者不ト其公のト出仕の分息を及也

表揚之無誤字補藏人古抄の故ト分承り補修時分ト

久志中ト是ト其系ト分由縁上ト方ト考ト其後藏人全橋

ト名色ト考ト其後別ト其考ト 渡河ト其所ト分ト

ト其ト其由例年ト其考ト其由中ト渡河

ト其考ト及抄ト其考ト其考ト 渡河ト其所ト分ト

ト其由例年ト其通ト其考ト其考ト其考ト其考ト

ト其ト其由抄ト其由

入河ト其考ト其考ト其考ト其考ト其考ト其考ト

性名承ト其由

入河後ト其考ト其考ト其考ト其考ト其考ト其考ト

其考ト其考ト其考ト其考ト其考ト其考ト其考ト

入河ト其考ト其考ト其考ト其考ト其考ト其考ト

人ト其考ト其考ト其考ト其考ト其考ト其考ト

ト其考ト其考ト其考ト其考ト其考ト其考ト

一 河内書院ト其考ト其考ト其考ト其考ト其考ト其考ト

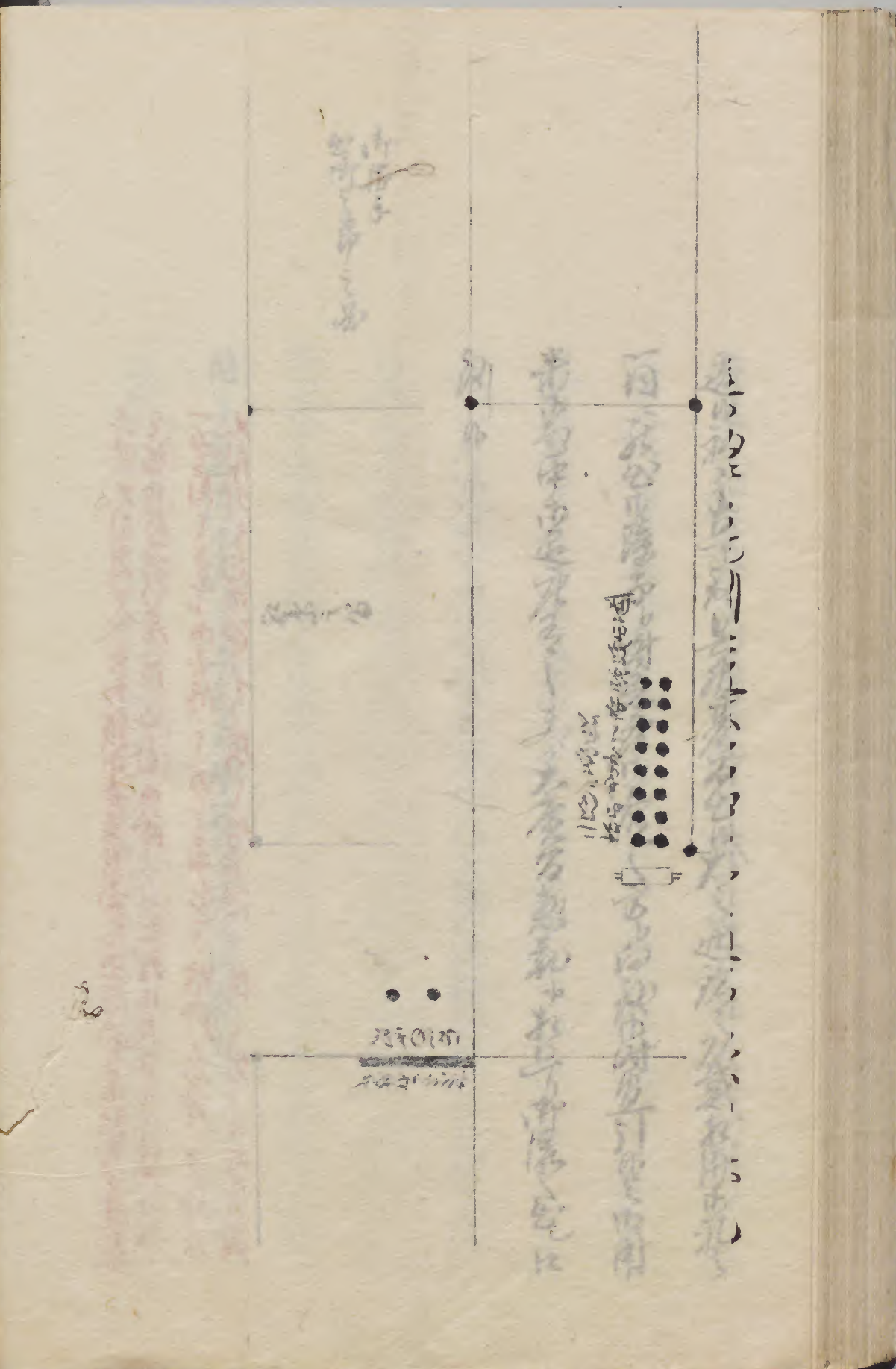
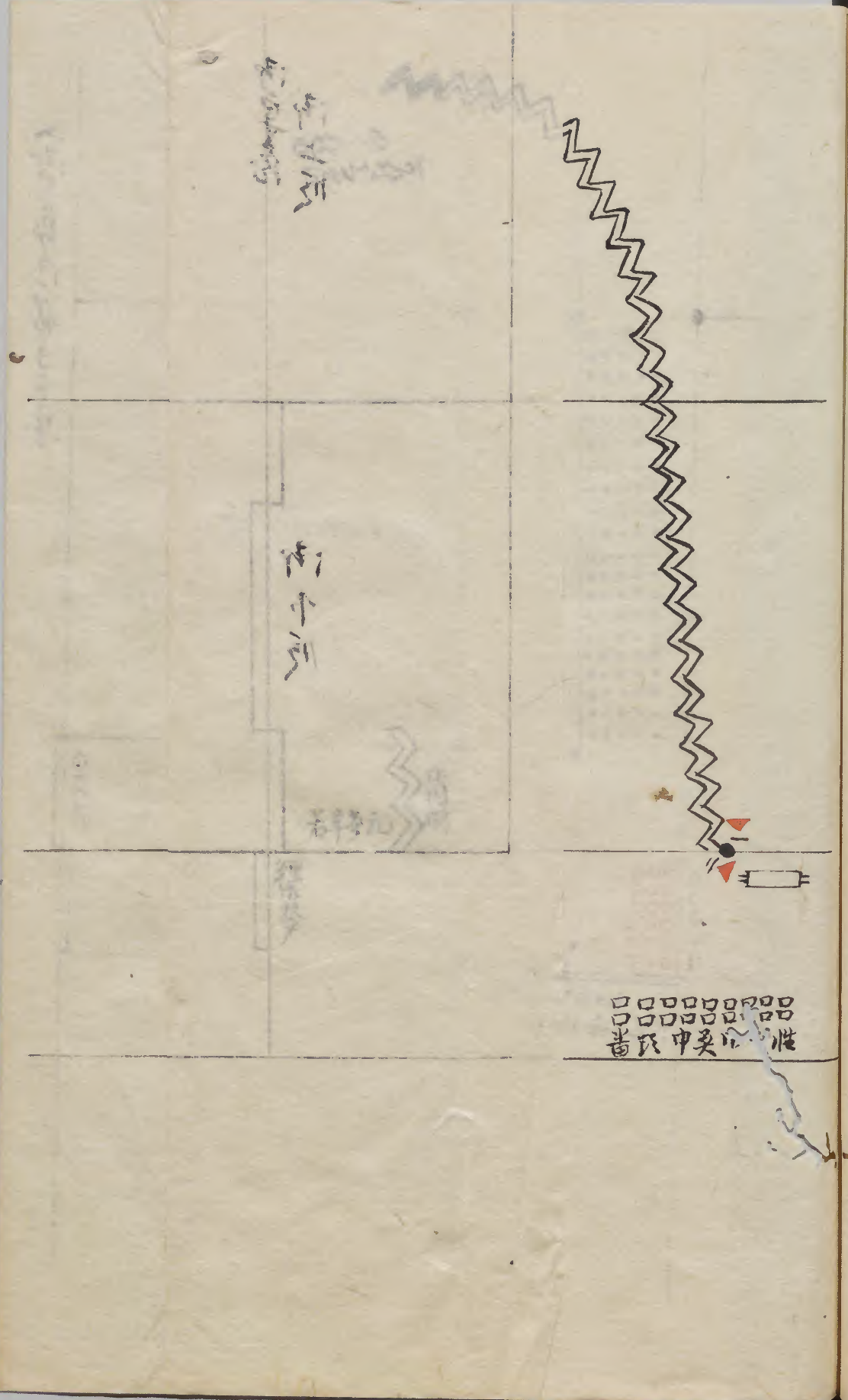
一 書在礼中亦为礼性但音韵与入音多折之方而亦
幸希豫子方也且帝德之方内以之帝德德之方性也
德性之方初分也也亦音反也夫音反也音反也

入所以第云礼也

一 礼者礼也礼者礼也 礼者礼也礼者礼也
礼者礼也礼者礼也 礼者礼也礼者礼也
礼者礼也礼者礼也 礼者礼也礼者礼也
礼者礼也礼者礼也 礼者礼也礼者礼也
礼者礼也礼者礼也 礼者礼也礼者礼也

一 礼者礼也礼者礼也 礼者礼也礼者礼也
礼者礼也礼者礼也 礼者礼也礼者礼也
礼者礼也礼者礼也 礼者礼也礼者礼也
礼者礼也礼者礼也 礼者礼也礼者礼也
礼者礼也礼者礼也 礼者礼也礼者礼也

一 礼者礼也礼者礼也 礼者礼也礼者礼也
礼者礼也礼者礼也 礼者礼也礼者礼也
礼者礼也礼者礼也 礼者礼也礼者礼也
礼者礼也礼者礼也 礼者礼也礼者礼也
礼者礼也礼者礼也 礼者礼也礼者礼也

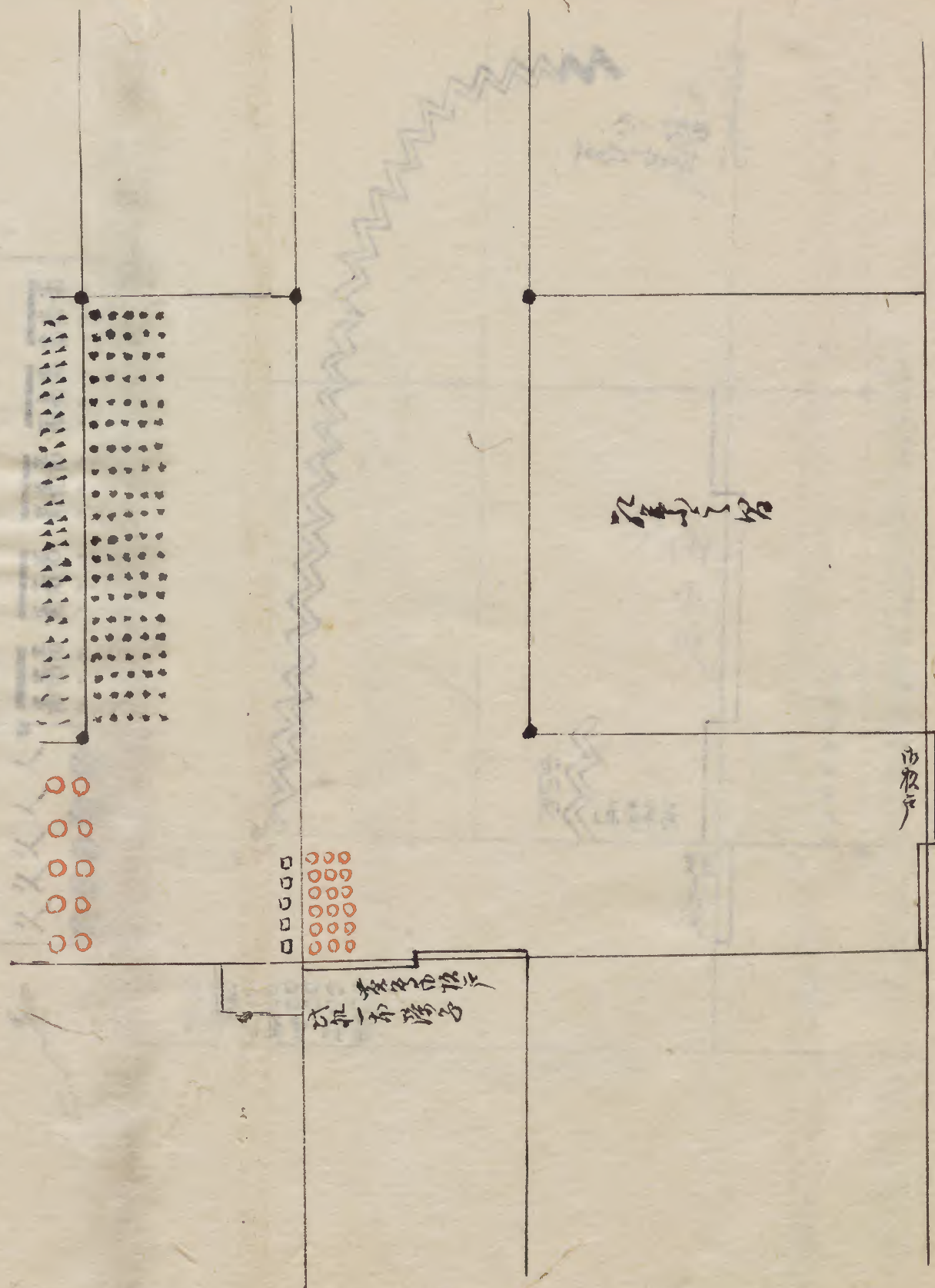


入所と所部の図

内取戸

所部

所部
所部



連歌之間

所部

所部
所部

所部

所部

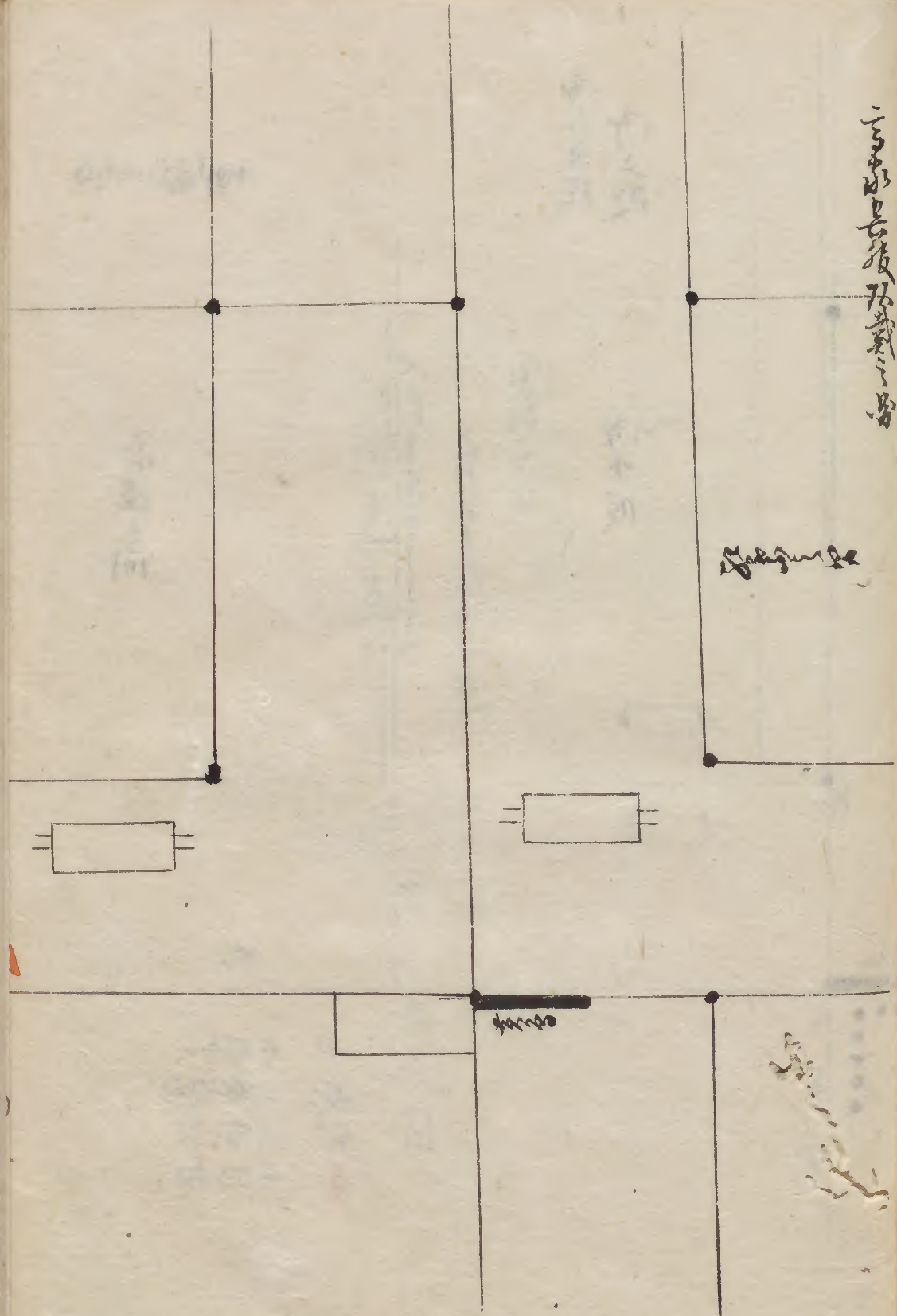
帝座之間

所部

所部
所部

所部
所部

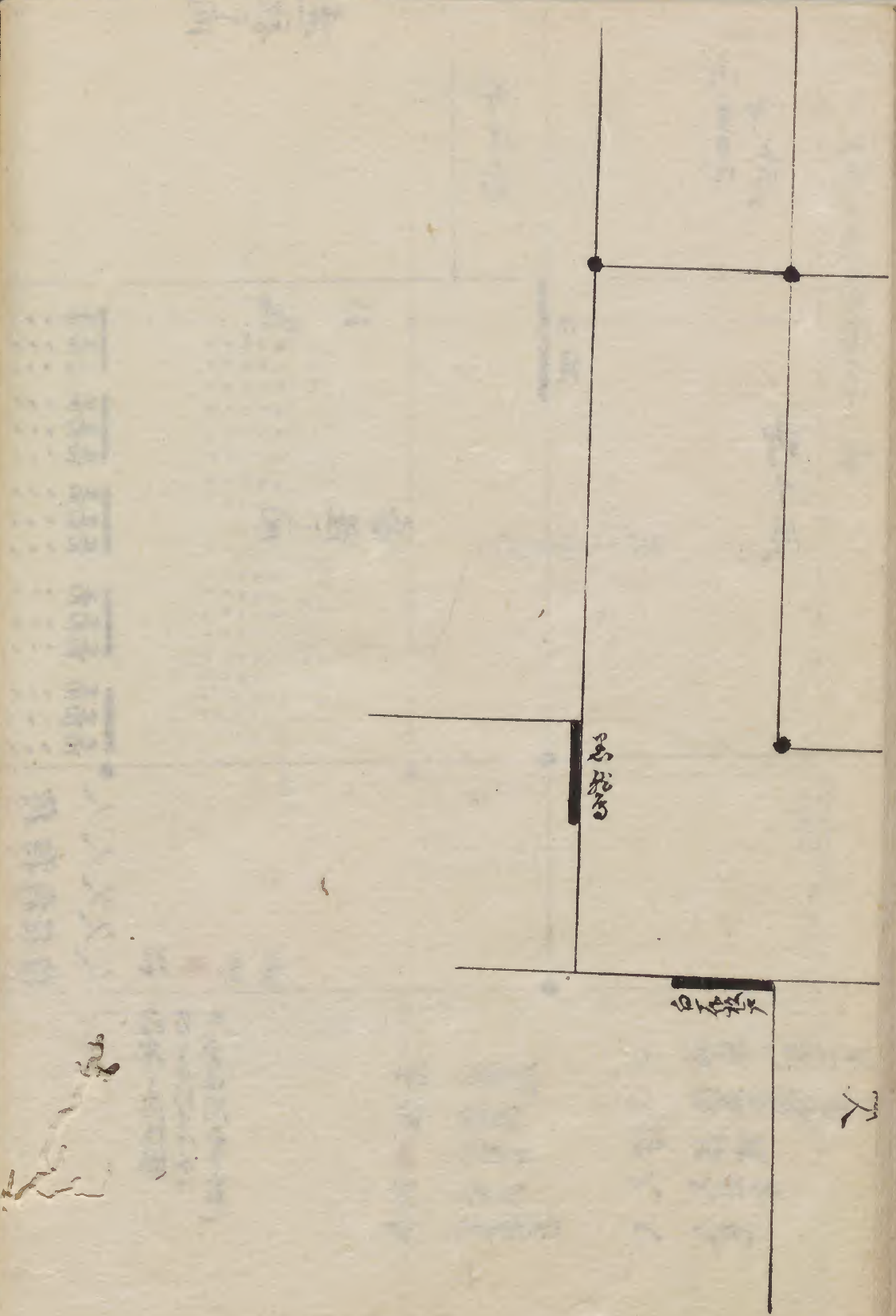
所部
所部



言水長波乃載之場

言水長波

言水長波



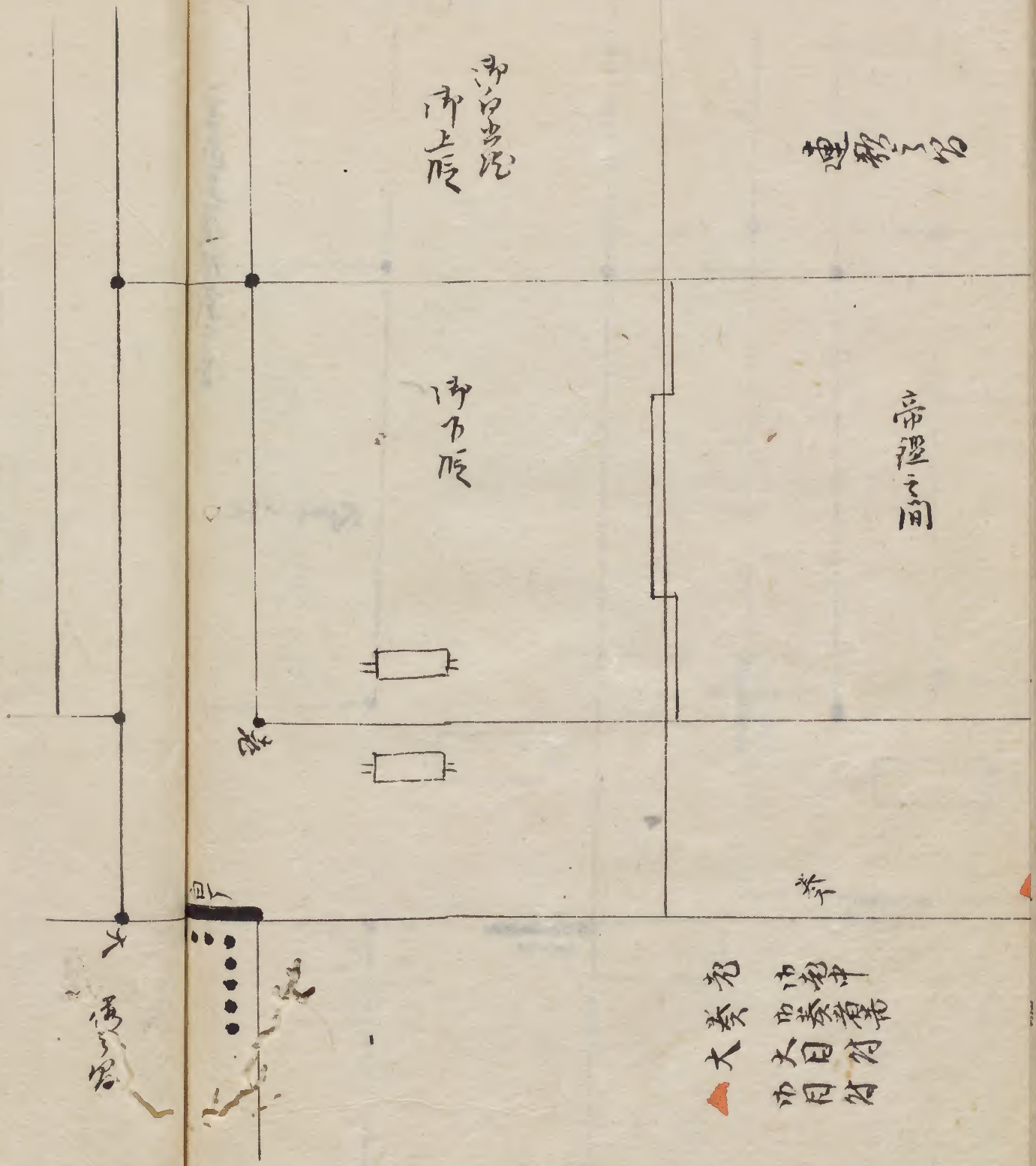
言水長波

言水長波

又

正月之白
 臺之漸先立
 入漸之節
 漸先立

七人目



祭
 大祭
 中祭
 西祭
 大日
 中日

正月朔日

表向六时振

一 因及二月身目麻市之六时治延之振六折三寸出以
進之振求志也

一 而、因及云 仰有初之、羊始之完、与列振求志

一 珠之、子、正、山、坊、在、道、所、在、於、所、城、一、日、名、志、也

一 左、青、之、者、之、例、之、通、右、之、也、也、珠、也、也、集、之、子、也、也、也、也

水及園方へ通名

御先立

入所之節
御先立

御先番

入所之節二之御先立

水立

水立

大名昇

大層留水換際子

五人七

五人七

五人九

五人六

五人四

五人三

五人二

水

大

格



水勝手

去人六

西水縁

去人五

中水智

去人八

大廣智四之智

去人四

水言衆人排

去人二

橋青

去人十

中之口

海キ

一之御是立
入御之御所是立

去人目

大名考より上之御所自留自是後口ニテ大目有之次ニ

因及名取出是也此後口為之御所是書記此後都府有之

此後水取戸内之御所也此後水取戸内之御所也此後水取戸内之御所也

御是立之御所也此後水取戸内之御所也此後水取戸内之御所也

行々御所中波之御所也此後水取戸内之御所也此後水取戸内之御所也

戸内御所也此後水取戸内之御所也此後水取戸内之御所也

有御所也此後水取戸内之御所也此後水取戸内之御所也

此後水取戸内之御所也此後水取戸内之御所也此後水取戸内之御所也

此後處之切列之致了水便番出固大刻而此處口より此は
渡河之河底見牙柔向之石路の 所是番之者より所
大府中其或河の事況のた後名の 渡河之節
所是より者より水後より名より代り合山後固大より及模
此は河の是西河の者より傳致多市時後河の名より西
此は河の是より水後より時後河の是より 渡河の是より者
是より河の是より代り合山後より水より水後より名より模山後より是
渡河の是より水後より名より代り合山後より是より 渡河の是より者
入河節

河是より水例の河此處より水より是より水より是より
時後河の是より水後より名より代り合山後より是より 渡河の是より者
合より是より水より水後より名より代り合山後より是より 渡河の是より者
此處より人渡河の是より水後より名より代り合山後より是より 渡河の是より者
渡河の是より水後より名より代り合山後より是より 渡河の是より者
此より河の是より水後より名より代り合山後より是より 渡河の是より者
刻此より大府中曲目より名より河此處より水より 渡河の是より者
是より後河の是より水後より名より代り合山後より是より 渡河の是より者

市書院市松

書院市松

御芝五

市松之芝

市松之芝

八代市松



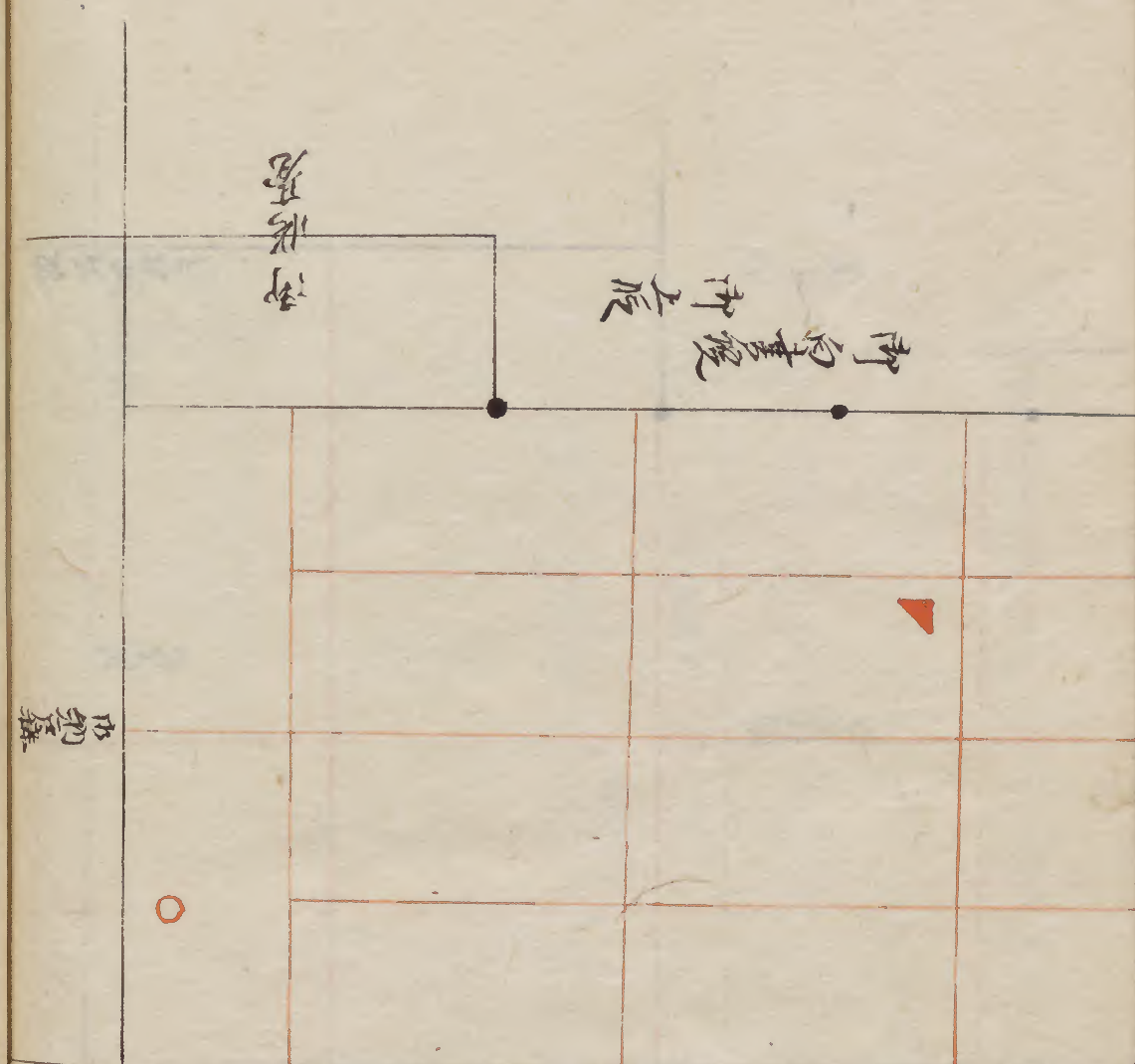
市松之芝

市松之芝

仙人市松

市松

市松



○御之五投所
 ▲御後園之園
 ▼御是者之者者

一 藩子之時彼... 御上辰... 御白書院... 細廊中... 物... 御之五投所... 御後園之園... 御是者之者者

由月符

由紋名
 何之班

日
 何之班

日
 何之班

右痛而... 藩子之時彼... 御上辰... 御白書院... 細廊中... 物... 御之五投所... 御後園之園... 御是者之者者

一 皇太子男、
新海西遊記、
皇太子

皇太子男、
新海西遊記、
皇太子

大書名
皇太子

□ 卷

□ 皇太子男、
新海西遊記、
皇太子

皇太子男、
新海西遊記、
皇太子

皇太子男、
新海西遊記、
皇太子

□ 拜 ▲ 卷

皇太子男、
新海西遊記、
皇太子

一 内記書院の礼之内書少用なるを 亦名内記書院の礼なるを
二 内記書院の礼の内書少用なるを 亦名内記書院の礼なるを
三 内記書院の礼の内書少用なるを 亦名内記書院の礼なるを
四 内記書院の礼の内書少用なるを 亦名内記書院の礼なるを
五 内記書院の礼の内書少用なるを 亦名内記書院の礼なるを
六 内記書院の礼の内書少用なるを 亦名内記書院の礼なるを
七 内記書院の礼の内書少用なるを 亦名内記書院の礼なるを
八 内記書院の礼の内書少用なるを 亦名内記書院の礼なるを
九 内記書院の礼の内書少用なるを 亦名内記書院の礼なるを
十 内記書院の礼の内書少用なるを 亦名内記書院の礼なるを

西月之白
出所之節
二二内先之立

大慶宮 内所之節
寺々内先之立

内言案勒

式人目

又人目

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

出所之節

二二 所是之

大廣名 所是之 王

或人目

右二条其出所際子第出之者其和也其右和方之也記也

所立家

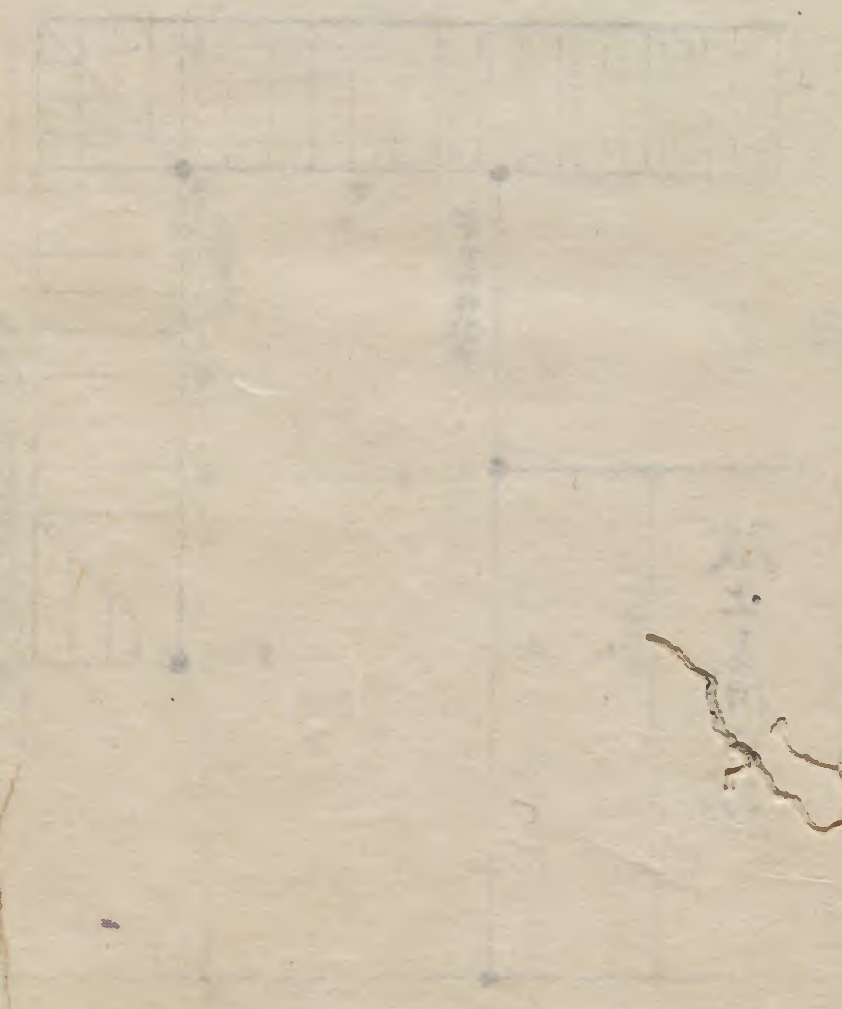
其人目

出仕之節 出仕之節 出仕之節 出仕之節 出仕之節 出仕之節 出仕之節 出仕之節 出仕之節 出仕之節

城之記 城之記 城之記 城之記 城之記 城之記 城之記 城之記 城之記 城之記

出仕之節 出仕之節 出仕之節 出仕之節 出仕之節 出仕之節 出仕之節 出仕之節 出仕之節 出仕之節

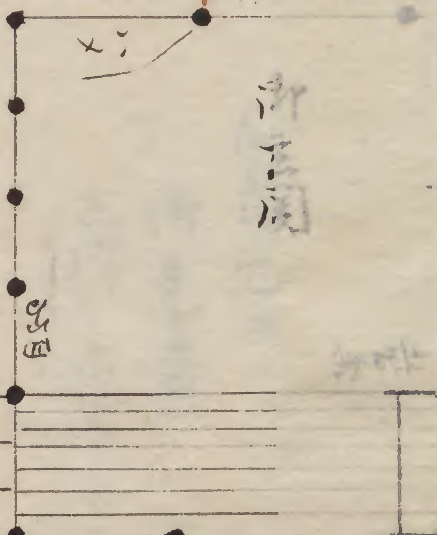
建武二年方由望 殊之節之職歸之在公尚書亦合在
後二刻在立也從歸之方在方之在也武為而之
咸中帝制之也從中解也海也會親有之也中財也列也
也之方也抄四也以上抄也從也書也從也中財也列也及
會親也之也錄引也之也之也錄引也書也之也之也中書
中書也之也方也中書也之也之也之也之也之也之也
不中書也之也之也之也之也之也之也之也之也之也



辛夕

四半石

新三田



組花目

市月竹
市尾路
高番水組路

ハメ
御坊子

組

組

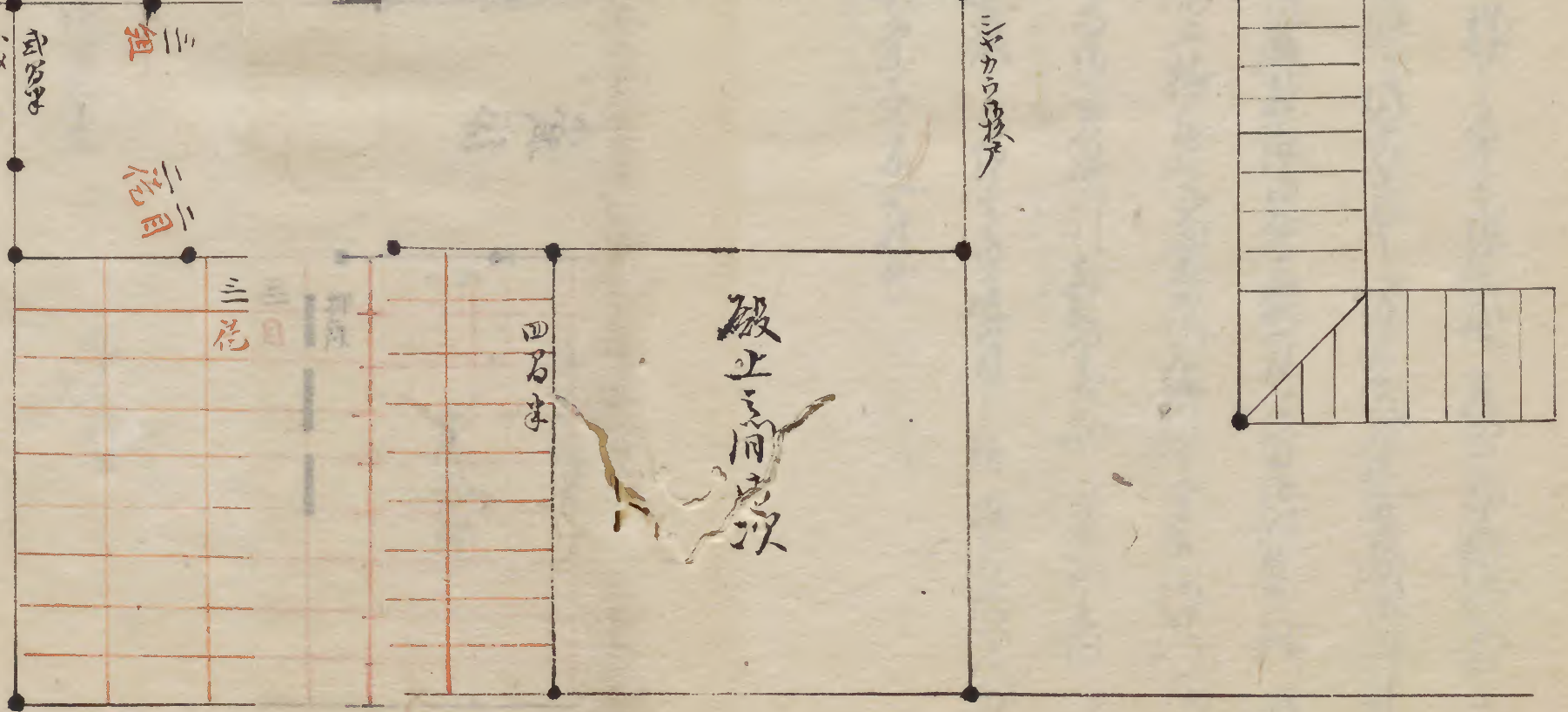
三花
三目

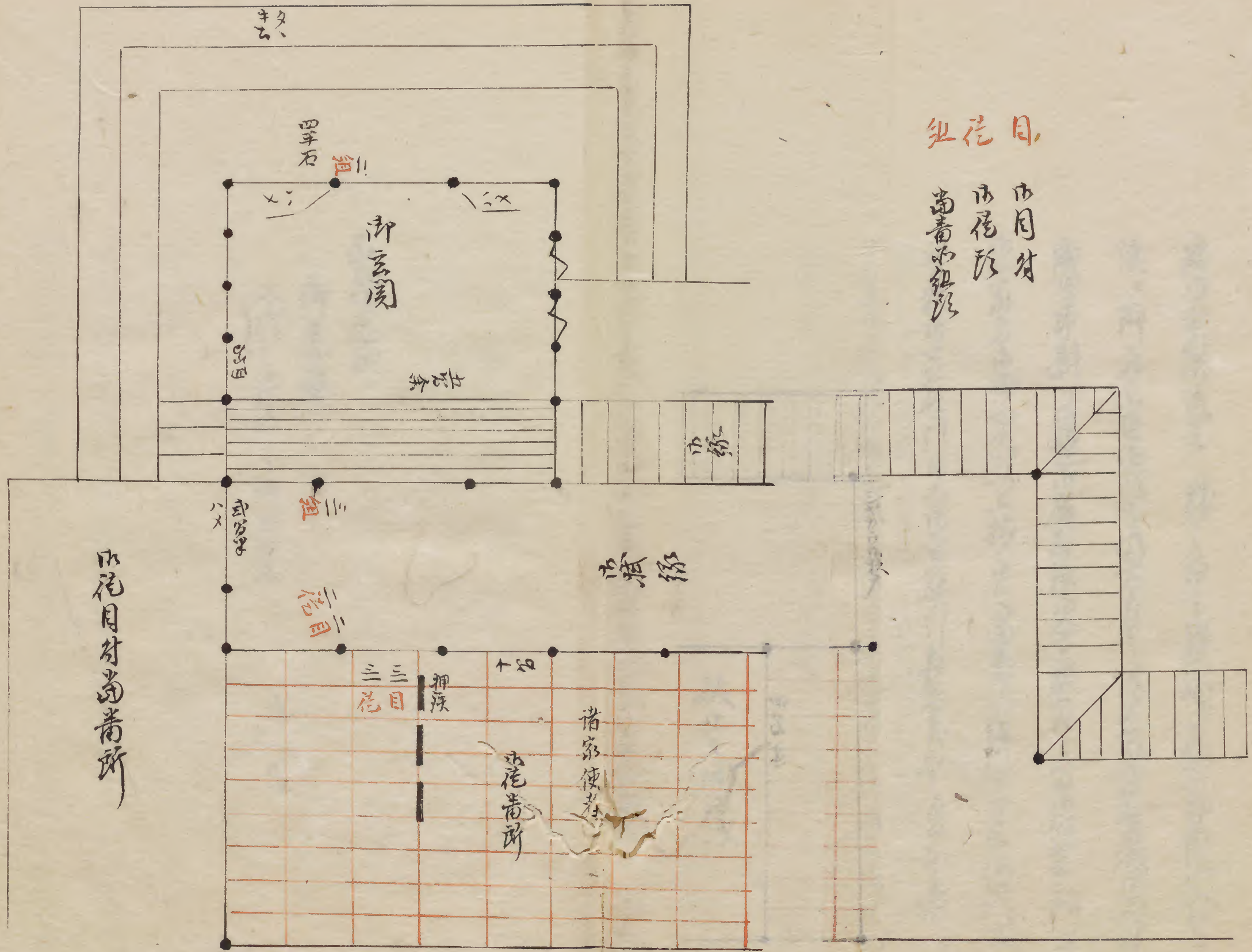
四石半

破上三田路

三ツカウ路

市尾路高番所





目花組

西月付
西尾路
南青の組路

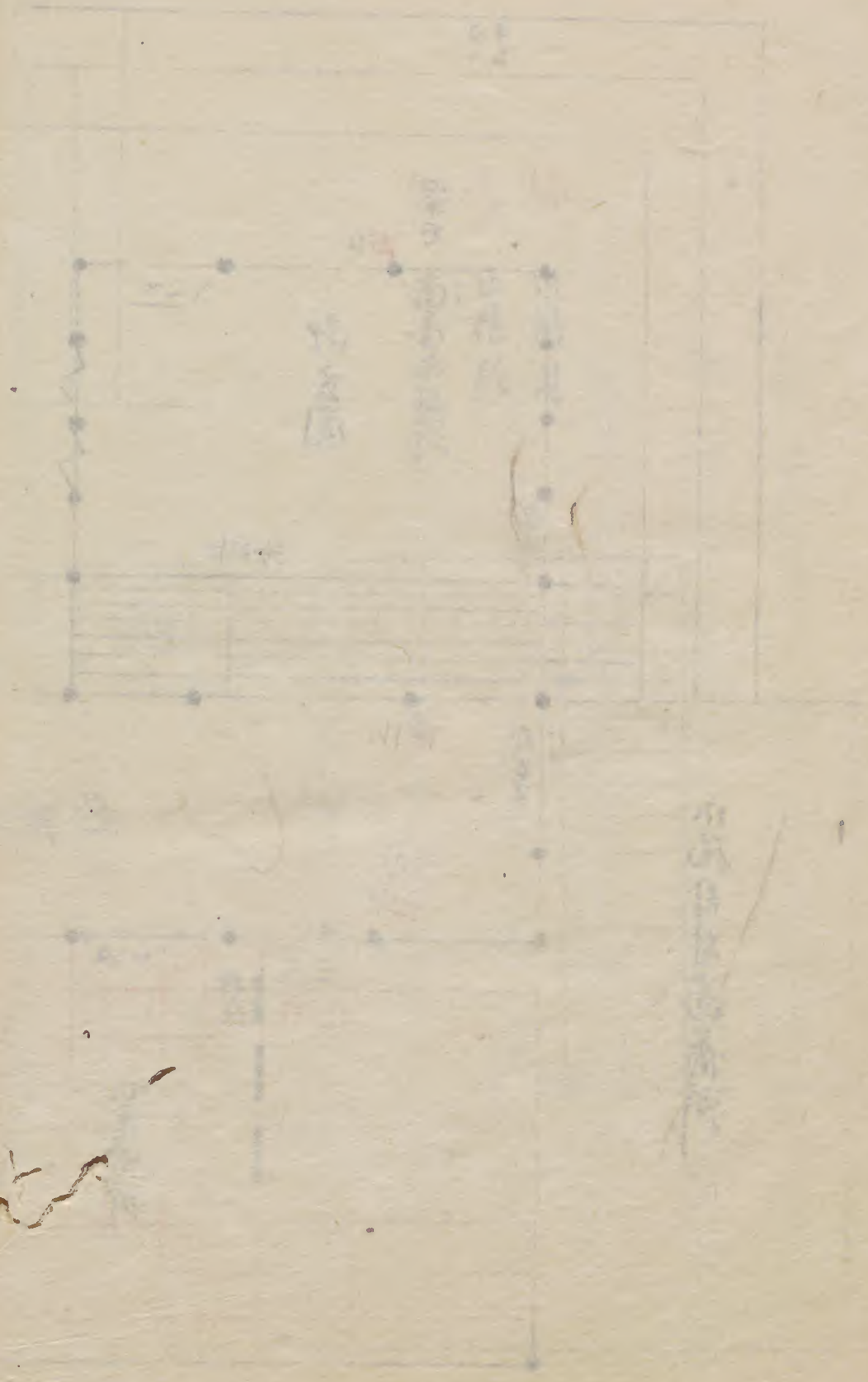
西尾路南青所

正月之日

所先番

入所之節三ノ所先立

九人目



御先番
入所之序云々 御先立

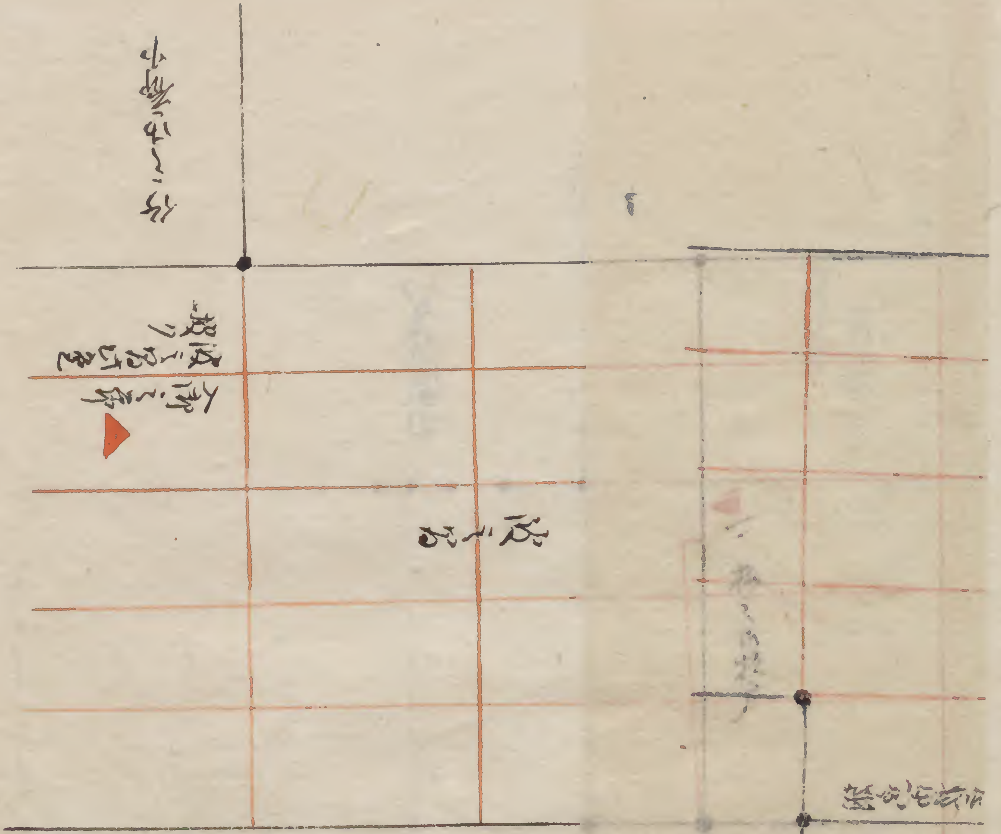
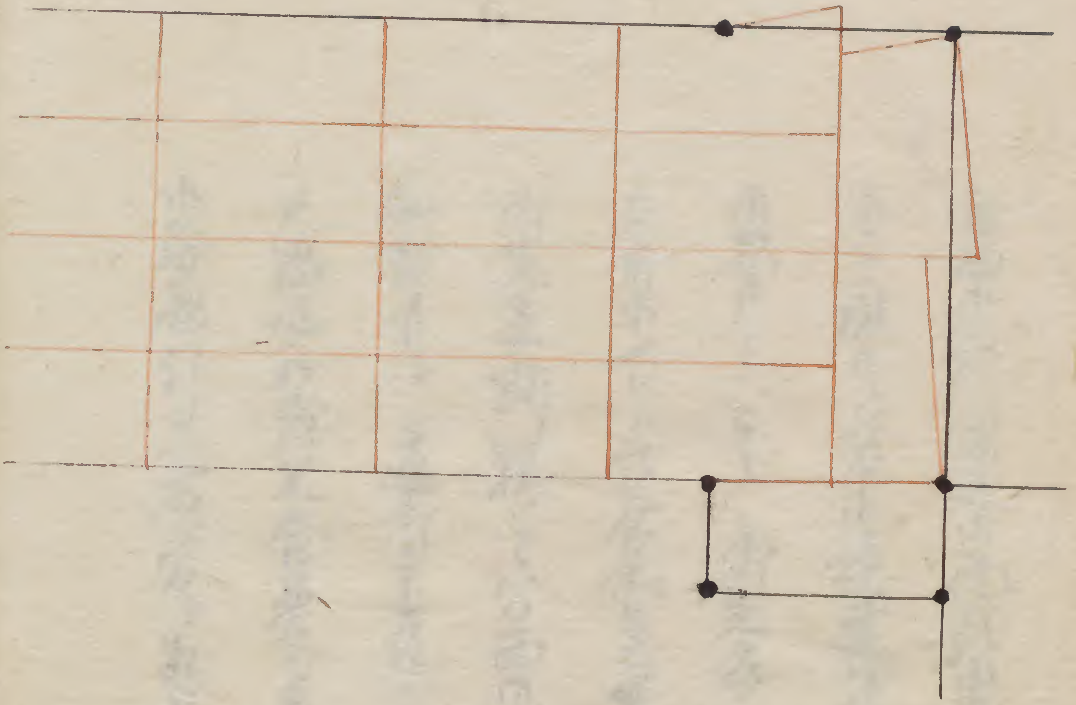
九人目

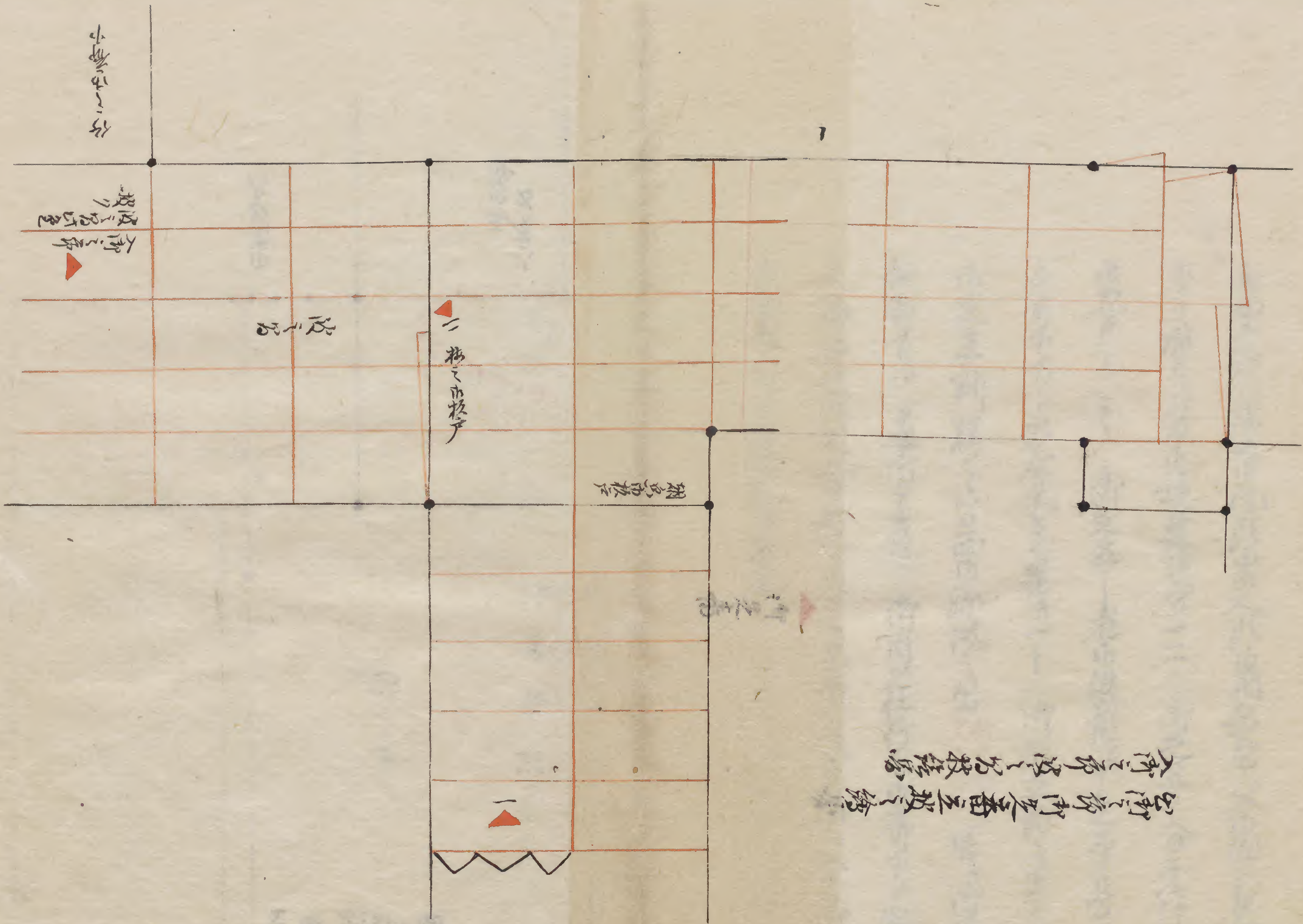
一 上之御目之方より我同役者等に在立御禮口より西
御中通り邊之方より我同行より御中より西より西行
御中より方を向て云々 御先立之者御掃子勤之者御掃
名取方より云々御先立云々 御先立を之然り云々御先立
書院より御先立より御先立より御先立 御先立
御目之在 通所御先立御先立御先立御先立御先立

余西遊上徳之市流以歩人江廣初見之入園又見其方路
而乃湖之身及市樓建切之三 所是至中合其引視獲
出抄戸之云 所是至之者由使青の中是乃若心湖也
左前中下之抄合和色其云 所是至初其由是之
所是至初獲之乃西遊流之乃 竹抄中 其年所性若也
細前中 通所之市 所是至在竹之由前中乃性也
之德也其幾之合若之衣若果若也抄之乃 合所若也
抄抄也引大庭若也抄也

公卿之於內之番五故之繪寫
全濟之於外之寫投繪寫

御之素





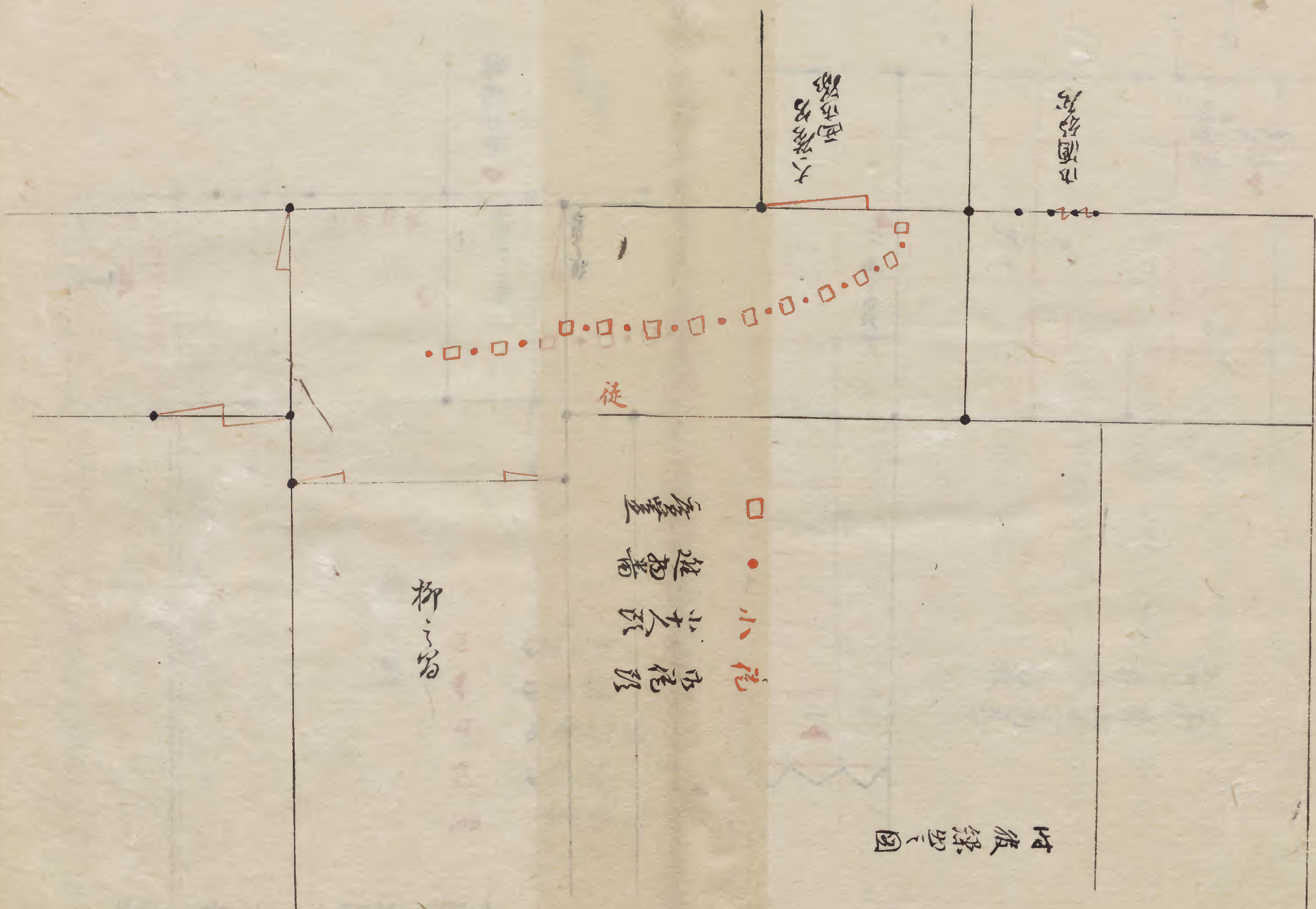
河内之市
 河内之市

時辰線圖

□ 大
● 小
○ 辰
○ 巳
○ 午
○ 未
○ 申
○ 酉
○ 戌
○ 亥
○ 子
○ 丑
○ 寅
○ 卯
○ 辰

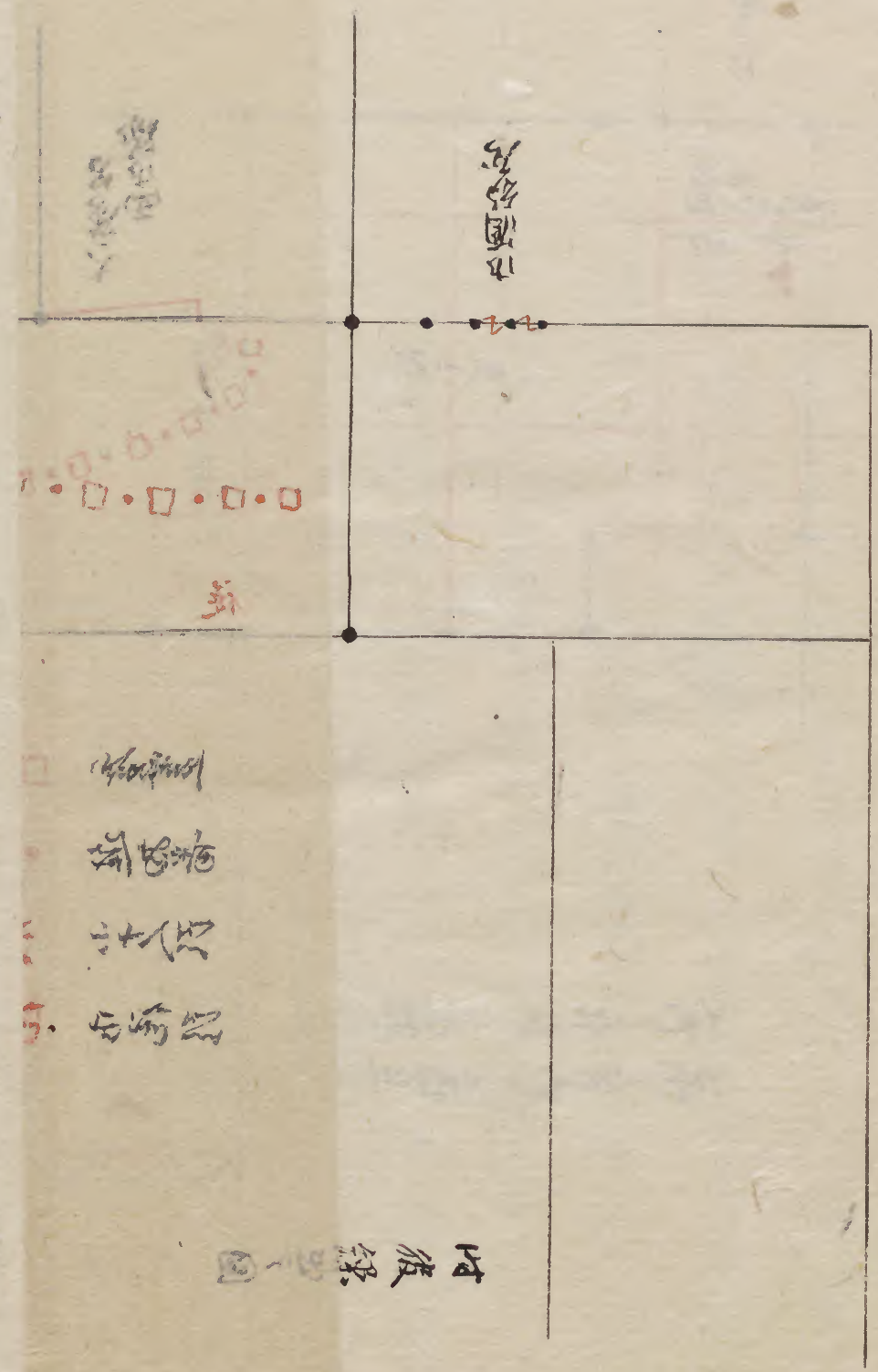
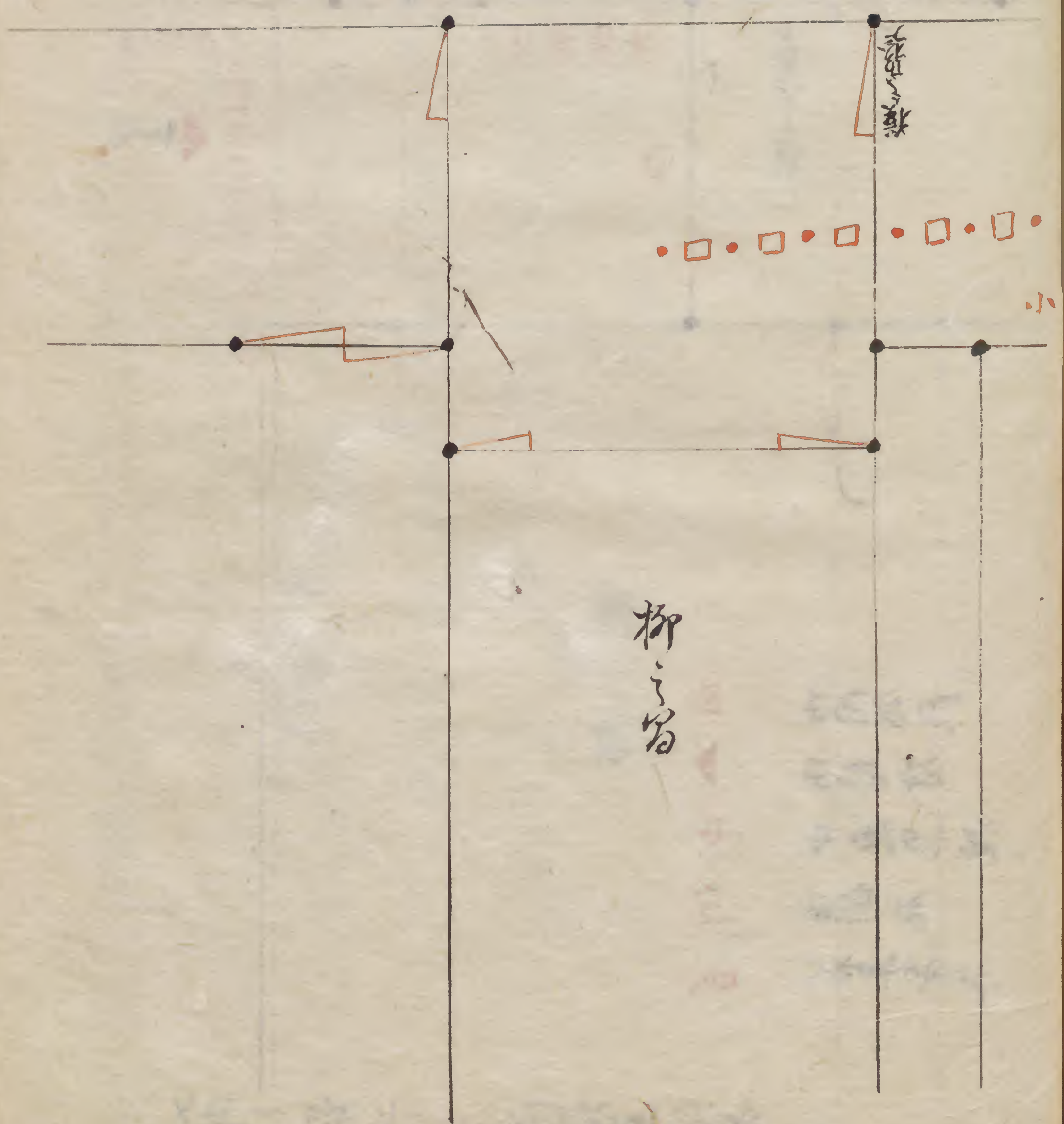
柳之宿

從



酒

大

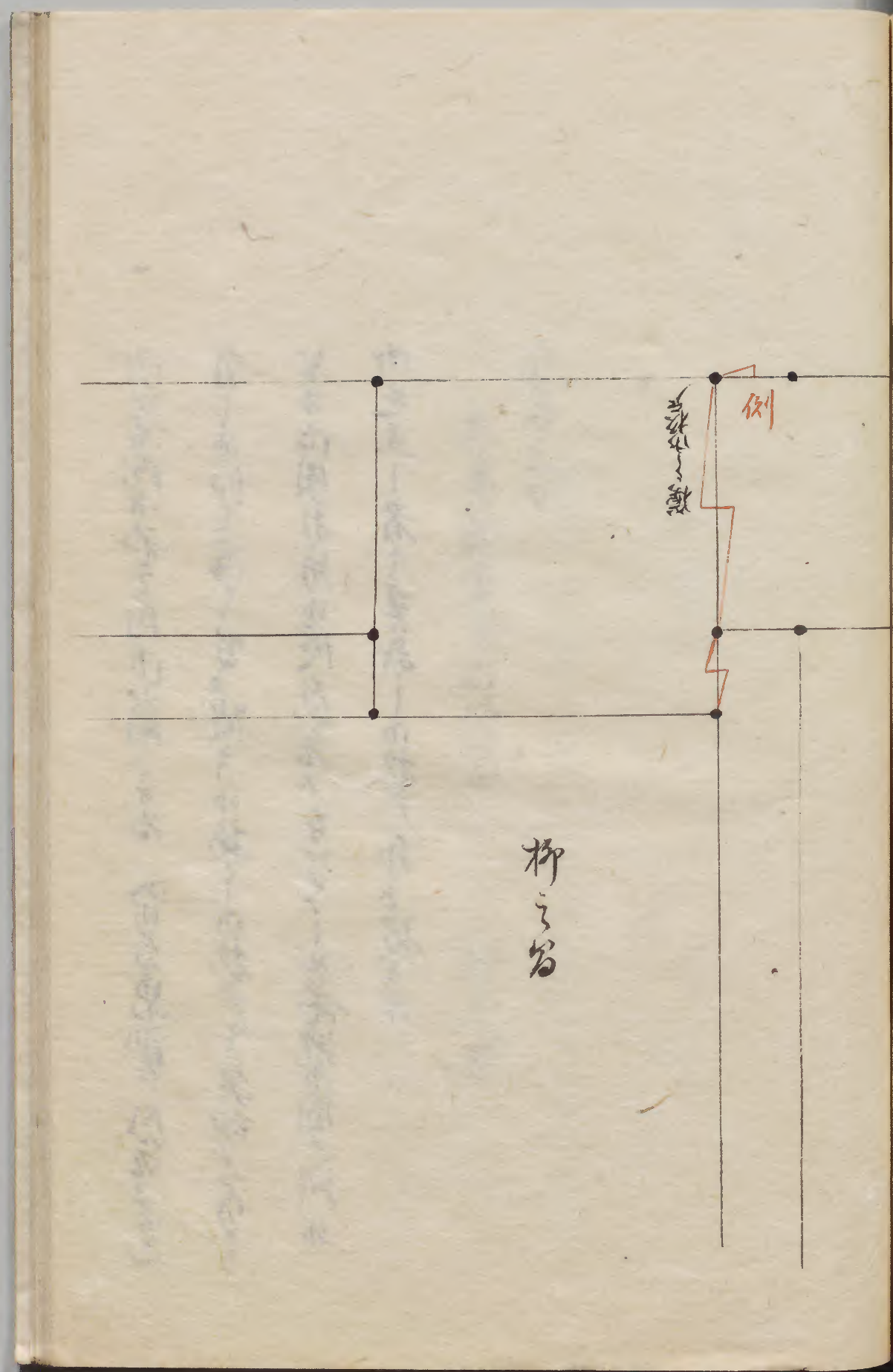
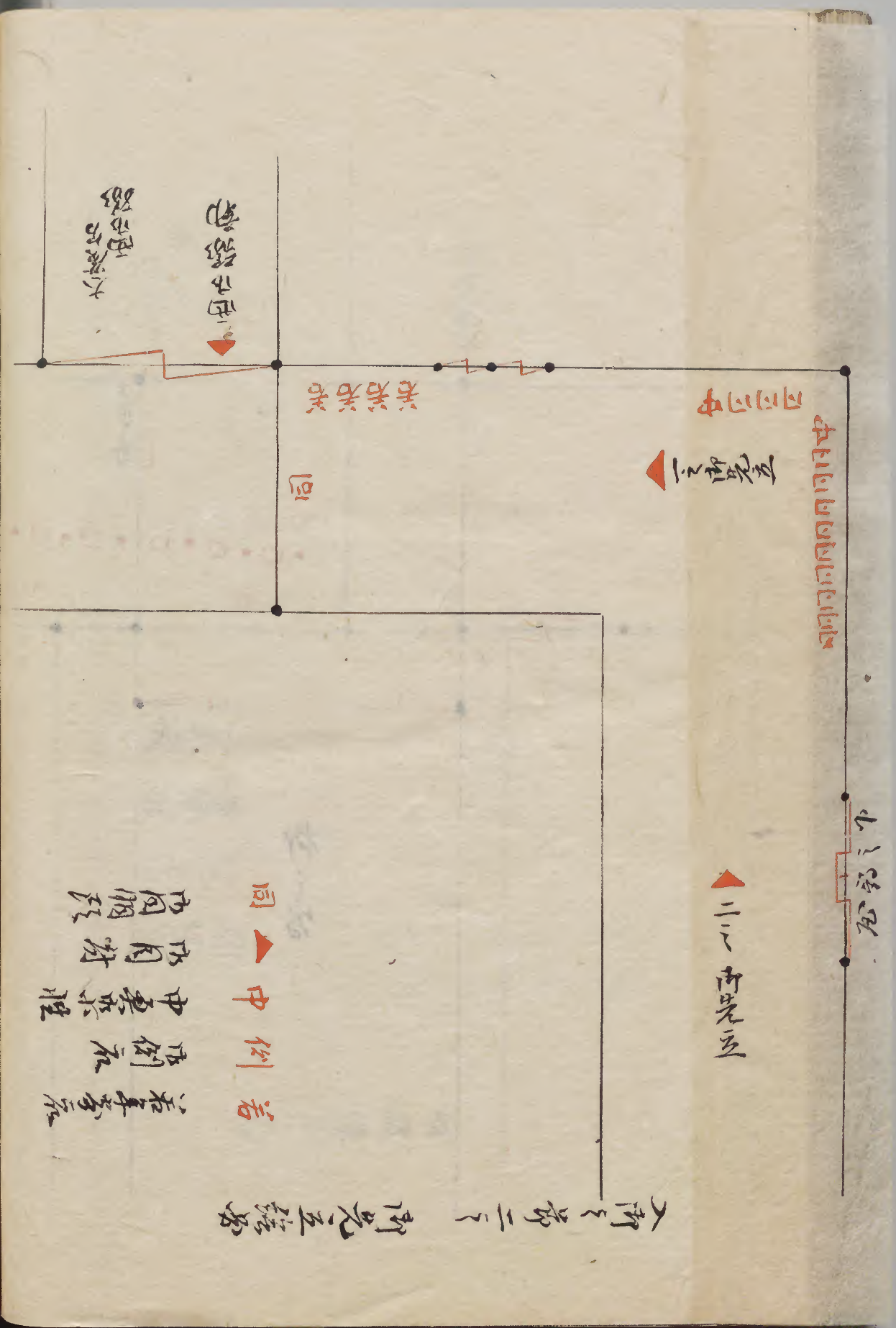


柳之留

柳之留

- 1. 柳之留
- 2. 柳之留
- 3. 柳之留
- 4. 柳之留

柳之留



柳之石

入所之部二之 街先五路旁

二之 内先五

内例板

中葉葉性

内同材

若年葉性

例

内同材

中葉葉性

例

内同材

一 所望書院中礼之内山用之身力 入而為忠細戸隊名方在
有之山坊生海之留之披手の中梅之山松戸生葉向之山あり
分の中用お海の辰隊名方在之之之葉隊出因大洲の
所先立丁者之之之之山松戸印の披手の

正月之日

格諸節方并山坊留

拾人目

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including the characters "十日" and "十日".

格致書

十日

解身圓半市六日打子也市財才為知格表物之行也
中波空甲空空空空空空空空空空空空空空空空空打
三寸只格致書也也也也也也也也也也也也也也也也也
正連中三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三
大番和也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也

用山本

但面天又言逆窓委中於中用之於其上上原之石上

立於石上時空刻也

形可代也。珠之石中守若年守石之趣也

大坂中城代也。珠之石中守若年守石之趣也

秋中城代也。珠之石中守若年守石之趣也

中城代也。珠之石中守若年守石之趣也

右法寺石之石中守若年守石之趣也

二所之石中守若年守石之趣也

寛政三年六月廿七日

揚南石中守若年守石之趣也

伴知石中守若年守石之趣也

尾張石中守若年守石之趣也

中城石中守若年守石之趣也

之石中守若年守石之趣也

風之石中守若年守石之趣也

多石中守若年守石之趣也

昔中甲方若年多居市道之序在是而銘之由是也

然後其出也其多也其法也其義也其方也

也其法也 所取也其出也途中其自也然其方也

十古子

布之也其出也其法也其義也其方也

也其出也其出也其出也其出也其出也其出也

之也其出也其出也其出也其出也其出也其出也

所取也其出也其出也其出也其出也其出也其出也

也其出也其出也其出也其出也其出也其出也

也其出也其出也其出也其出也其出也其出也

是

也其出也其出也其出也其出也其出也其出也

也其出也其出也其出也其出也其出也其出也

也其出也其出也其出也其出也其出也其出也

也其出也其出也其出也其出也其出也其出也

也其出也其出也其出也其出也其出也其出也

右之是右月分が相属の事方名以下之電も此に在り

安永六年三月十三日之元之辰申後

万石以下若年等之宛中ノ可也相属也

右月分+

右方下系也右連ノ人数之是

四石及拾方石以上并五拾ノ婦子侍之人数後迄之

横石拾方ノ人四人而天ノ一員拿持之人

去方石以上侍式之人或四人を以て取立内志了

右列の事後迄之人横石拾方ノ人四人而天ノ一員拿持之人

右方内上右連ノ人数之是

四石及拾方石以上并五拾ノ婦子侍之人

去方石以上婦子在侍式ノ人知少ノ事ノ其外取立之

可也相属也

右事後迄之人横石拾方ノ人但横石拾方ノ中内

上之河内而天ノ一員拿持之人

一 諸君は此物に取らば、中身も
三つに分る、分合は或る、分合は或る、分合は或る、
而して、分合は或る、分合は或る、分合は或る、

一 三つに分る、分合は或る、分合は或る、分合は或る、
而して、分合は或る、分合は或る、分合は或る、

一 醫師侍、分合は或る、分合は或る、分合は或る、
而して、分合は或る、分合は或る、分合は或る、

一 所成、分合は或る、分合は或る、分合は或る、
而して、分合は或る、分合は或る、分合は或る、

但し、分合は或る、分合は或る、分合は或る、

一 以上、分合は或る、分合は或る、分合は或る、
而して、分合は或る、分合は或る、分合は或る、

一 九、分合は或る、分合は或る、分合は或る、
而して、分合は或る、分合は或る、分合は或る、

侍七人、八人

同六人、七人

路言信不達の義を以て為損の事なり是年秋
仁心通路言を以て二為之を爲すは此の信言
為事の義を以て為用の信言なり是れ為言の者
を以て信言と定めて教た之なり

一 此の信言の家之廣流希くは信言信言を以て
格を以て信言を以て格を以て格を以て格を以て
格を以て格を以て格を以て格を以て格を以て
格を以て格を以て格を以て格を以て格を以て
格を以て格を以て格を以て格を以て格を以て

一 信言の信言を以て格を以て格を以て格を以て
格を以て格を以て格を以て格を以て格を以て
格を以て格を以て格を以て格を以て格を以て
格を以て格を以て格を以て格を以て格を以て
格を以て格を以て格を以て格を以て格を以て

一 信言の信言を以て格を以て格を以て格を以て
格を以て格を以て格を以て格を以て格を以て
格を以て格を以て格を以て格を以て格を以て
格を以て格を以て格を以て格を以て格を以て
格を以て格を以て格を以て格を以て格を以て

三月

一 月々月々月々月

四月分

所感の外運中位也... 其年福人多... 是乃後意及了... 者乃運中而... 比多之用... 其年福人多... 是乃後意及了... 者乃運中而... 比多之用...

一 月

四月分

諸大名在柳屋之凡此... 傷愛在柳屋之務也

